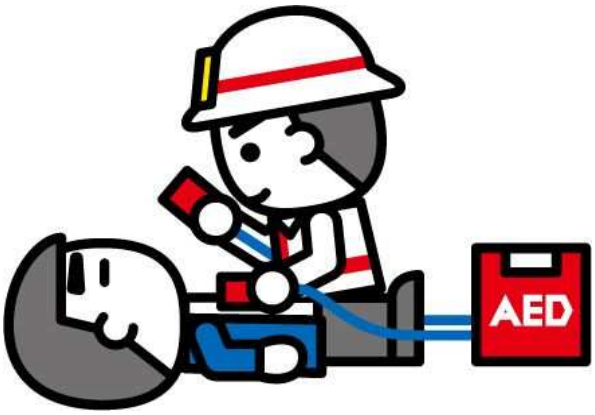
Ⅲ　救急・救助



余　白

第１　救急活動の概況

１　救急業務実施体制

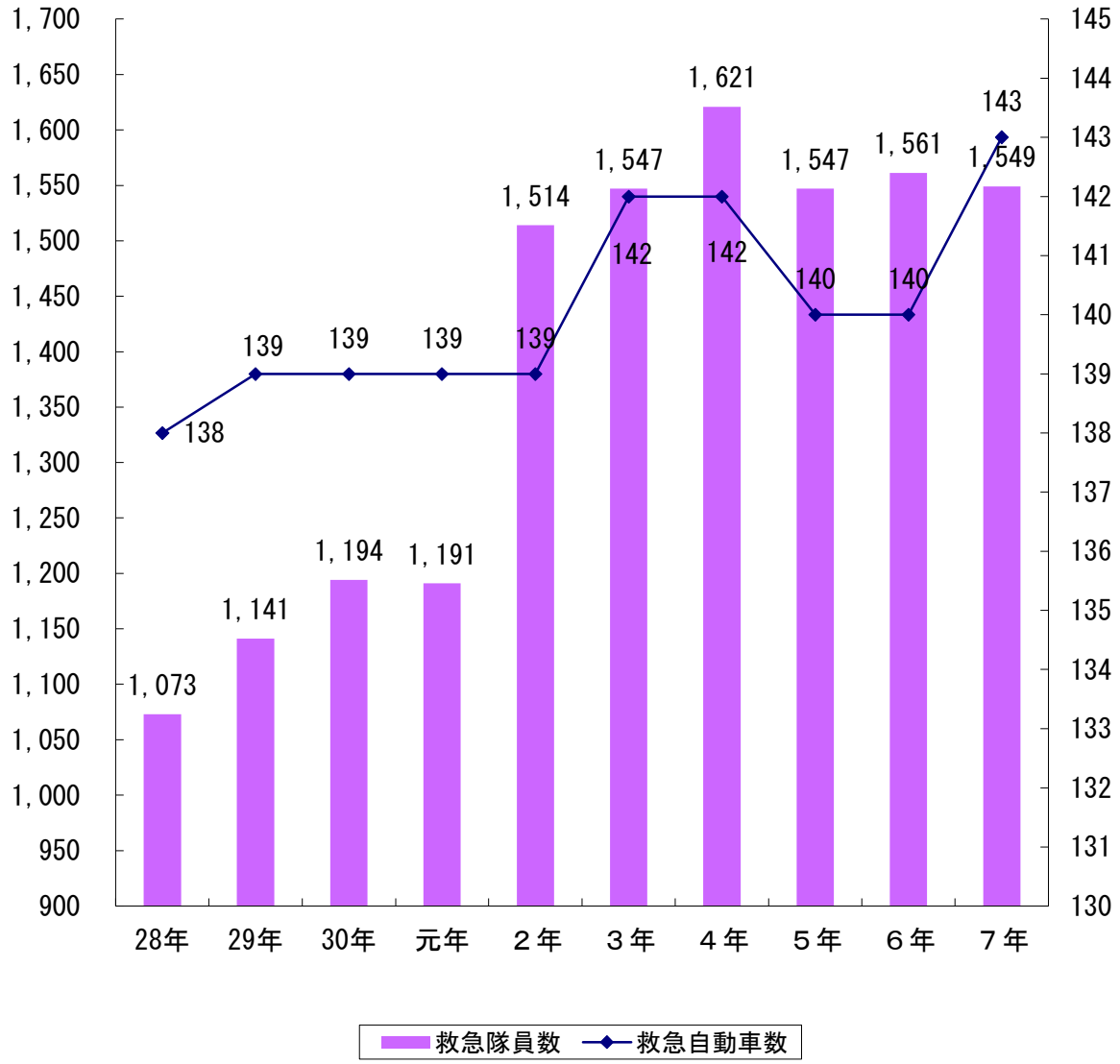
令和７年４月１日において救急業務を実施している市町村は41市町村で，県人口99.9%がカバーされている。

救急自動車の保有台数は143台，救急隊員1,549人（専任325人，兼任1,224人）で，前年に比べ救急隊員は12人減少している。また，救急告示医療機関は105機関，その他医療機関は1,279機関となっている。

平成３年８月にプレホスピタル・ケア充実の一環として，救急隊員の行う応急処置の範囲が拡大されるとともに，高度な応急処置を行うための新たな国家資格制度として救急救命士制度が導入され，救命率の向上を目指した救急業務の高度化が推進されている。

令和７年４月１日現在，県内全消防本部で救急救命士を運用（一部運用を含む）しており，救急救命士資格者は707名となっている。

図１　過去10年間の救急自動車及び救急隊員数の推移　（各年4月1日現在）



２ 救急業務実施状況

(1) 概要

令和６年中における救急出動件数は100,993件，搬送人員は91,012人で，いずれも昨年を上回った。

昨年と比べると救急出動件数は1,509件（1.5%）の増加，搬送人員は2,302人（2.6%）の増加となっている。

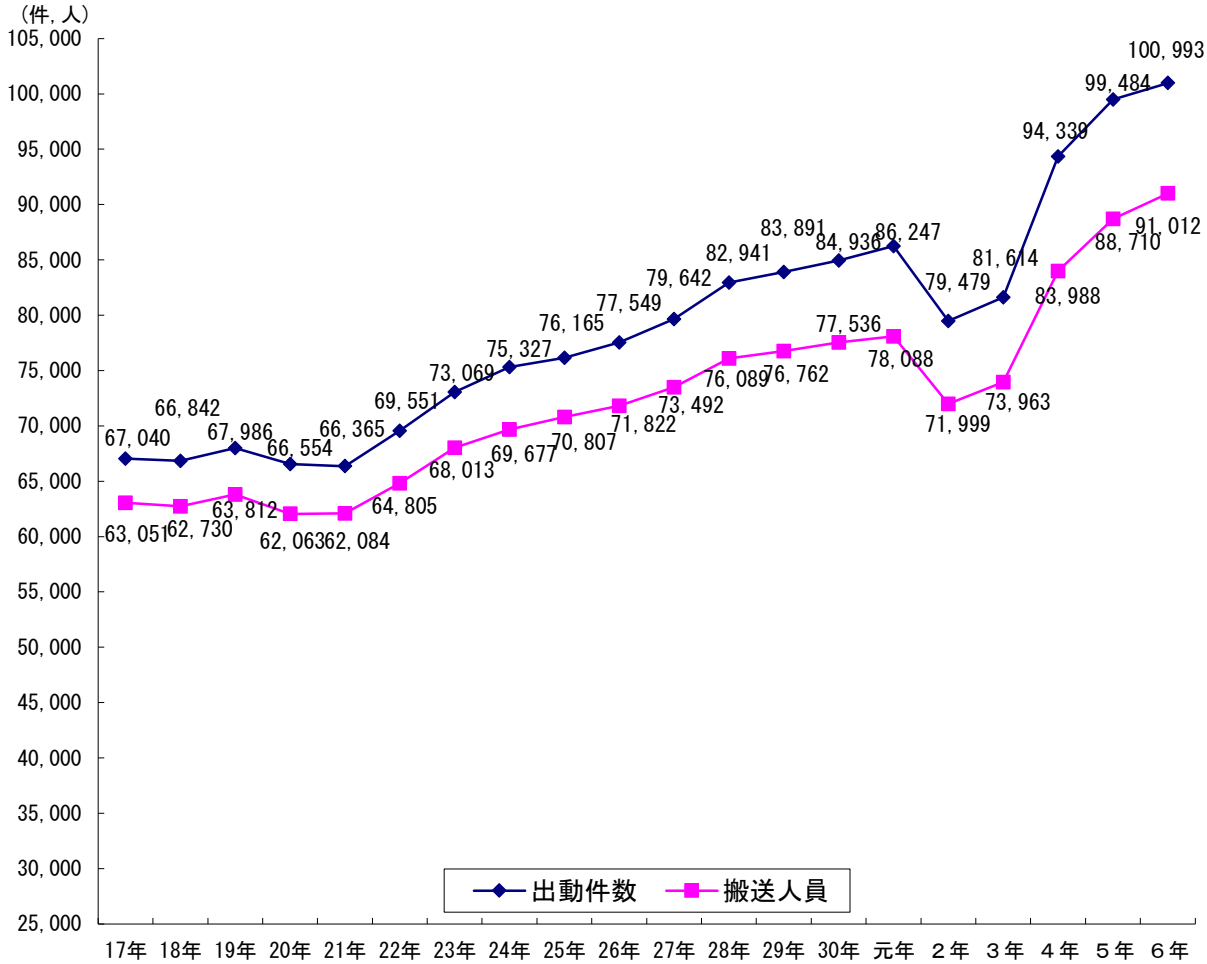
これは，１日平均275.9件（前年272.6件），約5.2分に1回の割合で救急隊が出動し，また１日平均248.7人（前年243.0人），約5.8分に１人の割合で搬送されていることとなる。

事故種別救急出動件数は，前年と同じく１位が急病で64,385件（全体の63.8%），次いで，その他が16,952件（同16.8%），一般負傷が14,576件（同14.4%），となっている。

なお，搬送人員については，１位が急病で57,693人（全体の63.4%），次いで，その他が15,318人（同16.8%），一般負傷が13,459人（同14.8%）となり，上位3位までで全体の約95.0%を占めている。

過去20年間の県内救急活動の推移は下図のとおりであり，これまで増加の一途をたどっていた搬送人員・出動件数は，平成17年からほぼ横ばい，平成22年から再び増加に転じ，令和２年に大幅に減少したが，令和３年から再び増加に転じた。

図２　過去20年間の救急出動件数，搬送人員の推移



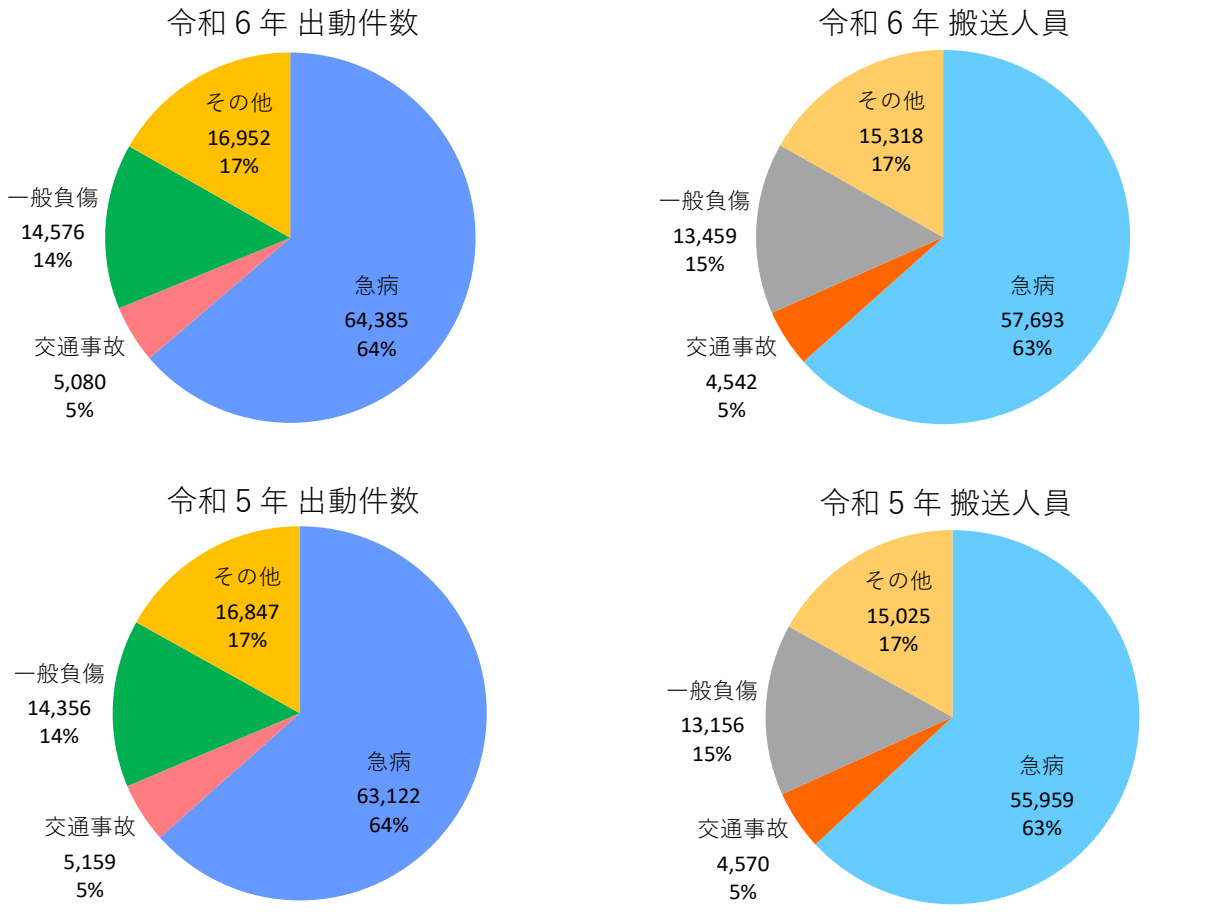
(2)　事故種別，傷病程度別及び年齢区分別搬送人員の状況

表１　事故種別出動件数及び搬送人員の状況　　（単位：件，人，％）

区分		計	構成比	急病	構成比	交通事故	構成比	一般負傷	構成比	その他	構成比
令和６年	出動件数	100,993	100.0	64,385	63.8	5,080	5.0	14,576	14.4	16,952	16.8
	搬送人員	91,012	100.0	57,693	63.4	4,542	5.0	13,459	14.8	15,318	16.8
令和５年	出動件数	99,484	100.0	63,122	60.7	5,159	5.6	14,356	14.4	16,847	16.9
	搬送人員	88,710	100.0	55,959	60.2	4,570	5.6	13,156	14.7	15,025	16.9
増減	出動件数	1,509	－	1,263	－	△ 79	－	220	－	105	－
	搬送人員	2,302	－	1,734	－	△ 28	－	303	－	293	－

（注）その他は，火災・自然災害・水難・労働災害・運動競技・加害・自損行為・その他（転院搬送・医師搬送・資機材等搬送・その他）を示す。

図３　　（単位：件，人，％）



ア　年齢別搬送人員

搬送人員の年齢別事故種別をみると，高齢者，成人，乳幼児では，急病が半数を超える高い率を占めており，少年では他の年齢に比べ，交通事故が比較的高い比率を占めている。

表２　年齢別搬送人員の状況

（単位：人，％）

区分	計	構成比	急病	構成比	交通事故	構成比	一般負傷	構成比	その他	構成比
新生児	149	100.0	22	14.8	0	0.0	4	2.7	123	82.6
乳幼児	2,753	100.0	1912	69.5	79	2.9	569	20.7	193	7.0
少　年	2,958	100.0	1,447	48.9	472	16.0	386	13.0	653	22.1
成　人	23,036	100.0	14,425	62.6	2,402	10.4	2,016	8.8	4,193	18.2
高齢者	62,116	100.0	39,887	64.2	1,589	2.6	10,484	16.9	10,156	16.4
合計	91,012	100.0	57,693	63.4	4,542	5.0	13,459	14.8	15,318	16.8

（注）　新生児：生後28日未満の者　　乳幼児：生後28日以上満7歳未満の者

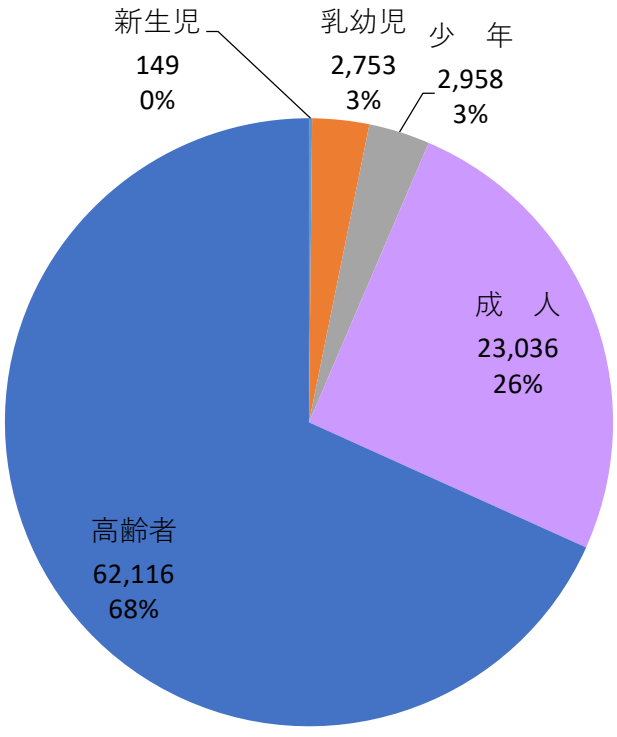
少　年：満7歳以上満18歳未満の者　　成　人：満18歳以上満65歳未満の者

高齢者：満65歳以上の者

（注）　その他は，火災・自然災害・水難・労働災害・運動競技・加害・自損行為・その他（転院搬送・医師搬送・資機材等搬送・その他）を示す。

（注）　構成比：搬送理由/年齢区分別搬送人員

図４



イ　傷病程度別搬送人員

令和６年中における搬送人員は91,012人であるが，これを傷病程度別にみると，軽症，中等症の両者で全体の91.4%を占めている。

表３　傷病程度別搬送人員の状況（事故種別）

（単位：人，%）

区分	合計	構成比	死亡	構成比	重症	構成比	中等症	構成比	軽症	構成比	その他	構成比
火災	55	100.0	1	1.8	7	12.7	17	30.9	30	54.5	0	0.0
自然災害	14	100.0	0	0.0	0	0.0	6	42.9	8	57.1	0	0.0
水難	53	100.0	7	13.2	16	30.2	9	17.0	21	39.6	0	0.0
交通事故	4,542	100.0	21	0.5	217	4.8	1,240	27.3	3,064	67.5	0	0.0
労働災害	910	100.0	9	1.0	108	11.9	362	39.8	430	47.3	1	0.1
運動競技	619	100.0	1	0.2	8	1.3	161	26.0	449	72.5	0	0.0
一般負傷	13,459	100.0	62	0.5	1,118	8.3	6,318	46.9	5,960	44.3	1	0.0
加害	200	100.0	1	0.5	1	0.5	52	26.0	146	73.0	0	0.0
自損行為	516	100.0	41	7.9	71	13.8	243	47.1	161	31.2	0	0.0
急病	57,693	100.0	672	1.2	3,793	6.6	29,835	51.7	23,390	40.5	3	0.0
その他	12,951	100.0	10	0.1	1,619	12.5	10,944	84.5	359	2.8	19	0.1
計	91,012	100.0	825	0.9	6,958	7.6	49,187	54.0	34,018	37.4	24	0.0

※　死　亡：初診時において，死亡が確認されたもの
　　重　症：傷病の程度が3週間以上の入院加療を必要とするもの
　　中等症：傷病の程度が入院を必要とするもので重症に至らないもの
　　軽　症：傷病の程度が入院を必要としないもの
　　その他：医師の診断がないもの及び「その他の場所」へ搬送したもの
※　構成比：傷病程度人数/区分合計

また，年齢別にみると，新生児，高齢者の場合は中等症の割合が高いのに対し，乳幼児，少年，成人の場合は，軽症の割合が高くなっている。

表４　傷病程度別搬送人員の状況（年齢別区分）

（単位：人，％）

区分	合計	構成比	死亡	構成比	重症	構成比	中等症	構成比	軽症	構成比	その他	構成比
新生児	149	100.0	0	0.0	12	8.1	122	81.9	15	10.1	0	0.00
乳幼児	2,753	100.0	5	0.2	48	1.7	711	25.8	1,987	72.2	2	0.07
少年	2,958	100.0	3	0.1	51	1.7	849	28.7	2,055	69.5	0	0.00
成人	23,036	100.0	120	0.5	1,228	5.3	9,597	41.7	12,088	52.5	3	0.01
高齢者	62,116	100.0	697	1.1	5,619	9.0	37,908	61.0	17,873	28.8	19	0.03
計	91,012	100.0	825	0.9	6,958	7.6	49,187	54.0	34,018	37.4	24	0.03

(3)　現場到着所要時間及び収容所要時間の状況

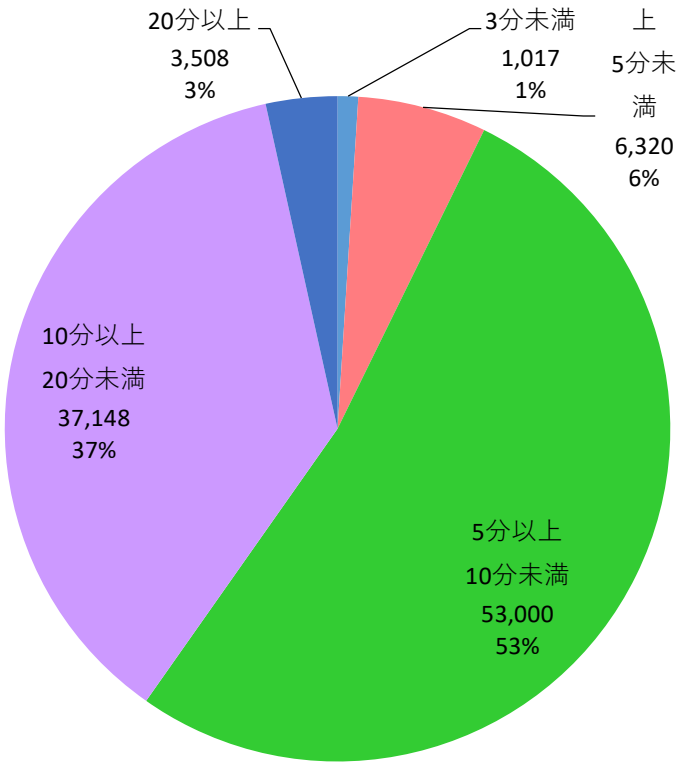
令和６年中の救急出動件数100,993件について現場到着所要時間別（救急事故の覚知から現場に到着するまでに要した時間別）の状況を示したものが下表である。

これによると最も多いのは，５分以上～10分未満の53,000件で全体の52.5%を占めている。

表５　現場到着時間別出動件数

区分	計	3分未満	3分以上5分未満	5分以上10分未満	10分以上20分未満	20分以上	現場到着平均所要時間	
							県	全国
急病	64,385	504	2,928	33,228	25,528	2,197	9.7分	―
交通事故	5,080	63	256	2,421	2,017	323	10.4分	―
一般負傷	14,576	150	714	7,610	5,567	535	9.7分	―
その他	16,952	300	2,422	9,741	4,036	453	8.2分	―
計	100,993	1,017	6,320	53,000	37,148	3,508	9.5分	9.8分
構成比	100.0%	1.0%	6.3%	52.5%	36.8%	3.5%	―	―

図５



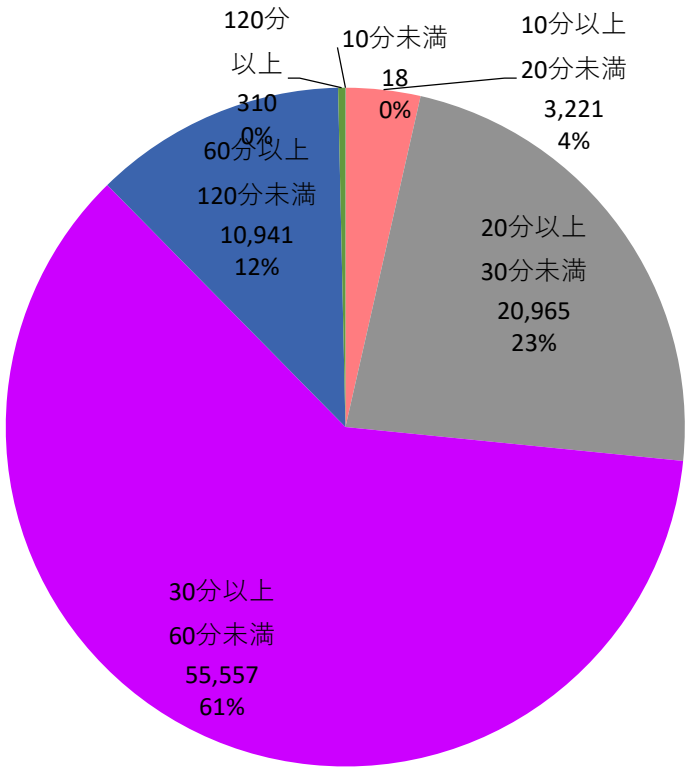
令和６年中の搬送人員91,012人について，収容所要時間別（救急事故の覚知から医療機関に収容するまでに要した時間別）の状況を示したものが下表である。

これによると搬送人員のうち66,808人（73.4%）が収容に30分以上要している。

表６　収容所要時間搬送人員

区分	計	10分未満	10分以上20分未満	20分以上30分未満	30分以上60分未満	60分以上120分未満	120分以上	収容平均所要時間	
								県	全国
急病	57,693	4	1,410	12,945	36,907	6,275	152	40.7分	—
交通事故	4,542	0	66	764	2,944	748	20	44.5分	—
一般負傷	13,459	3	326	2,817	8,681	1,585	47	41.5分	—
その他	15,318	11	1,419	4,439	7,025	2,333	91	40.3分	—
計	91,012	18	3,221	20,965	55,557	10,941	310	41.0分	45.6分
構成比	100.0%	0.0%	3.5%	23.0%	61.0%	12.0%	0.3%	—	—

図６



(4)　事故種別転送回数別搬送人員の状況

搬送人員91,012人のうち99.7%は，転送なしで収容されており，転送回数１回の者が転送者全体の100.0%を占めている。

表７　転送回数別搬送人員の状況

区分		計	急病	交通事故	一般負傷	その他
転送なし		90,697	57,497	4,530	13,378	15,292
転送	1回	315	196	12	81	26
	2回	0	0	0	0	0
	3回	0	0	0	0	0
	4回	0	0	0	0	0
	5回以上	0	0	0	0	0
	小計 (A)	315	196	12	81	26
計 (B)		91,012	57,693	4,542	13,459	15,318
転送率 (A)／(B)×100		0.3	0.3	0.3	0.6	0.2

転送理由についてみると，救急告示医療機関，非告示医療機関ともに処置困難が多く，次いで専門外の順になっている。

表8 医療機関転送理由の状況

（単位：件，%）

区分		合計	ベッド満床	専門外	医師不在	手術中	処置困難	理由不明	その他
救急告示	構成比	100.0	6.6	17.6	0.0	0.0	62.5	0.0	13.2
		136	9	24	0	0	85	0	18
非告示	構成比	100.0	3.4	17.3	1.1	0.0	66.5	0.6	11.2
		179	6	31	2	0	119	1	20
計	構成比	100.0	4.8	17.5	0.6	0.0	64.8	0.3	12.1
		315	15	55	2	0	204	1	38

(5)　救急隊員の行った応急処置の状況

令和６年中に搬送された人員のうち，救急隊員によって応急処置された人の事故種別，処置項目状況をみると，急病においては，血中酸素飽和度の測定が最も多く，次いで血圧測定が多い。

また，交通事故，一般負傷においても，血中酸素飽和度の測定，血圧測定の順で処置が多くなっている。

表９　救急隊員の行った応急処置の状況

（単位:人）

事故種別 / 応急処置対象搬送人員 / 処置項目	計	急病	交通事故	一般負傷	その他
応急処置対象搬送人員	90,819	57,675	4,538	13,451	15,155
止血	1,757	187	233	1,125	212
固定	4,867	257	2,323	1,772	515
人工呼吸	333	248	4	25	56
心マッサージ	143	110	3	13	17
心肺蘇生	1,514	1,196	41	147	130
酸素吸入	15,889	10,854	338	706	3,991
気道確保	2,116	1,654	55	188	219
（再掲）気道確保のうち気管挿管	239	168	3	48	20
保温	5,644	3,718	227	775	924
被覆	3,984	233	824	2,521	406
在宅療法継続	330	289	0	26	15
ショックパンツによる血圧保持	1	1	0	0	0
除細動	152	128	7	9	8
薬剤投与	550	436	19	53	42
血圧測定	86,939	55,080	4,440	12,925	14,494
聴診器による心音・呼吸音等の聴取	27,460	20,107	1,860	2,734	2,759
血中酸素飽和度の測定	89,080	56,459	4,479	13,244	14,898
心電図	55,880	40,397	2,044	6,068	7,371
静脈路確保（CPA前）	290	208	26	27	29
静脈路確保（CPA後）	687	553	17	65	52
血糖測定	1,611	1,536	11	39	25
ブドウ糖投与	116	115	0	0	1
その他の応急処置	69,588	44,451	3,506	10,226	11,405
計（再掲の気管挿管を除く）	368,931	238,217	20,457	52,688	57,569

（注）一人につき複数の応急処置を行うこともあるため，応急処置対象搬送人員と事故種別ごとの処置項目の計の数は一致しない。

(6)　高速道路における救急業務の状況

高速自動車国道における救急業務実施体制は，令和７年４月１日現在，九州縦貫自動車道のうち鹿児島インターチェンジから宮崎インターチェンジ間，えびのインターチェンジから人吉インターチェンジ間を沿線３市１組合で，相互応援協定を締結し，上下線方式により，第１次出場をインターチェンジ所在の常備消防が担当する体制を整えている。

東九州自動車道31.7kmは沿線１市１組合が担当している。

県内においては，上り線が鹿児島インターチェンジから宮崎県えびのインターチェンジまでの69.8kmについて，第１次出場を担当し，救急業務を行っている。

なお，令和６年中の本県における救急活動は，下表のとおりである。

高速自動車道における救急活動状況

表10　九州自動車道

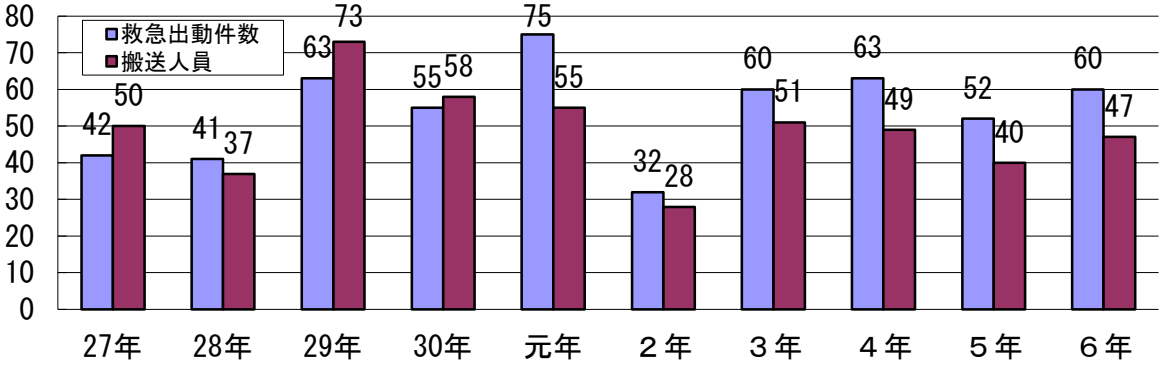
区　　分	インターチェンジ名（ＩＣ）	救急出動件数	搬送人員	救急告示医療機関数	高速道路における救急活動開始年月日
鹿児島市消防局	鹿児島			28	昭和63 .3.29
	鹿児島北	6	8	12	昭和52.11.15
	薩摩吉田	5	4	0	昭和48.12.13
	姶良		0	0	昭和48.12.13
姶良市消防本部	姶良	2	2	1	昭和48.12.13
	加治木	5	7	3	昭和48.12.13
	桜島スマートIC	4	3		平成30. 3.30
霧島市消防局	溝辺鹿児島空港	12	7	1	平成17.11. 7
	溝辺パーキングエリア	1	1		平成17.11. 7
	横川	3	1	0	平成17.11. 7
伊佐湧水消防組合	栗野	10	8	3	昭和55. 3.22
計	10　Ｉ　Ｃ	48	41	48	

（注）　医療機関は，インターチェンジから半径5キロメートルの範囲にあるものである。

表11　東九州自動車道

区　　分	インターチェンジ名（ＩＣ）	救急出動件数	搬送人員	救急告示医療機関数	高速道路における救急活動開始年月日
霧島市消防局	国分パーキング			5	平成12.3.4
	国分	2	1	4	平成14.3.2
	隼人東	3	1	4	平成12.3.4
	隼人西	4	2	1	平成12.3.4
大隅曽於地区消防組合	末吉財部	3	2	0	平成14.5.9
計	５　Ｉ　Ｃ	12	6	14	

図７　最近10年間の高速自動車道における救急出動件数及び搬送人員



３　プレホスピタル・ケアの充実

プレホスピタル・ケア（救急現場及び搬送途上における応急処置）の一層の充実を図るために，平成３年８月に「救急隊員の行う応急処置等の基準」が改正され，これに伴い消防学校における新たな教育訓練（救急標準課程（平成16年４月１日より救急科に改称）及び救急Ⅱ課程）の修了者は，従来の応急処置に加えて９項目の処置を行うものとされ，救急救命士資格者は，医師の指示の下にさらに高度な応急処置（特定３項目）をも行うものとされた。

これに伴い，消防学校における救急科（救急標準課程）の修了者が計画的に養成されるとともに，救急救命士についても県内全消防本部において運用され，資格者，高規格救急自動車のいずれも着実に増加している。

また，救急救命士の質の向上による救命効果を高めるため，平成15年２月に消防機関，救急医療機関，医師会などにより構成される鹿児島県救急業務高度化協議会を，同年３月に６地域（薩摩，北薩，姶良伊佐，大隅，熊毛，大島）に地域救急業務高度化協議会を設置し，平成15年４月から包括的除細動を実施し，平成16年７月から認められた医師の具体的指示下での気管挿管についても救急業務高度化協議会で承認された病院で，体制の整った消防本部から順次病院実習を実施し，532名が認定を受け20消防本部で実施が可能となっている。

平成18年４月から認められた医師の具体的指示下での薬剤投与について773名が認定・登録を受け，平成26年４月には「心肺機能停止前の重度傷病者に対する静脈路確保及び輸液，血糖測定並びに低血糖発作症例へのブドウ糖溶液の投与」の実施が追加され，730名が認定・登録を受け，20消防本部で実施が可能となっている。

さらに，救急現場近くの一般市民による応急手当を促進するため，令和６年12月末までに応急手当指導員3,397名，応急手当普及員980名が県内消防本部により養成され，住民に対する応急手当講習会が次のとおり実施されている。

なお，平成16年12月に応急手当の普及啓発活動の推進に関する実施要綱の一部改正により，非医療従事者による自動体外式除細動器（ＡＥＤ）の使用が可能となったことから，ＡＥＤの内容を含めた救命講習の実施率が高くなっている。

令和６年中の住民に対する応急手当講習会実施状況

普通救命講習	941回	14,795名受講
上級救命講習	50回	427名受講
救命入門コース	426回	10,901名受講
その他の講習	1,085回	24,574名受講
計	2,502回	50,697名受講

表12　救急業務高度化の推進状況

各年4月1日現在

区分		令和７年	令和６年	対前年比較	
				増減数	増減率
救急救命士運用消防本部数		20	20	0	0.00%
救急隊員数①		1,549	1,561	△ 12	-0.77%
	うち救急救命士有資格者② (②／①:%)	707 (45.6%)	698 (44.7%)	9	1.29%
	(②のうち気管挿管認定者)	441	437	4	0.92%
	(②のうち薬剤投与認定者)	657	655	2	0.31%
	(②のうち処置拡大認定者)	645	646	-1	-0.15%
	うち救急科（救急標準課程）・ (③／①:%)	819 (52.9%)	827 (53.0%)	△ 8	-0.97%
救急自動車数④		143	140	3	2.14%
	うち高規格車⑤ (⑤／④:%)	140 (97.9%)	138 (98.6%)	2	1.45%
救急隊数⑥		117	118	△ 1	-0.85%
	うち救急救命士運用隊⑦ (⑦／⑥:%)	117 (100.0%)	117 (99.2%)	0	0.00%

※1 救急隊員として専任又は兼任の辞令を受けている救急救命士資格者数は667名，専任及び兼任の者が休日等の時，代替として救急業務に従事する資格者が40名，救急自動車に搭乗しない資格者が127名で，有資格者は計834名いる。

表13　救急業務実施体制等の状況（消防本部設置市町村）

区分 消防本部別	人口 （人） R2年 国調	面積 (k㎡)	救急車総数（台）			救急隊数	救急救命士運用隊数※2	救急隊員数（人）						
				うち高規格	うち予備車			計	うち資格者･修了者				専任	兼任
									救急救命士	標準課程	救急Ⅰ課程	救急Ⅱ課程		
鹿児島市消防局	593,128	547.61	24	24	6	18	18	233	95	133	2	3	90	143
枕崎市消防本部	20,033	74.78	3	3	0	2	2	32	14	18	0	0	0	32
出水市消防本部	51,994	329.98	4	4	0	3	3	64	22	42	0	0	16	48
垂水市消防本部	13,819	162.12	3	3	0	2	2	37	16	21	0	0	0	37
薩摩川内市消防局	92,403	682.92	9	8	1	7	7	72	29	42	0	1	20	52
日置市消防本部	47,153	253.01	4	4	1	3	3	47	22	25	0	0	19	28
霧島市消防局	123,135	603.17	8	8	0	8	8	128	55	73	0	0	52	76
いちき串木野市消防本部	27,490	112.3	3	3	1	2	2	18	12	6	0	0	0	18
南さつま市消防本部	32,887	283.59	5	5	0	5	5	67	22	43	0	2	22	45
姶良市消防本部	76,348	231.25	5	5	1	4	4	65	35	30	0	0	43	22
さつま町消防本部	20,243	303.9	3	3	0	3	3	32	15	16	0	1	0	32
指宿南九州消防組合	72,091	506.72	8	8	0	8	8	110	54	56	0	0	0	110
阿久根地区消防組合	28,975	250.47	6	6	2	4	4	59	29	25	0	5	0	59
伊佐湧水消防組合	33,572	536.85	6	6	1	5	5	81	38	40	0	3	0	81
大隅曽於地区消防組合	75,024	780.99	9	9	2	7	7	80	43	37	0	0	29	51
大隅肝属地区消防組合	134,985	1160.82	12	12	2	10	10	114	49	65	0	0	28	86
沖永良部与論地区広域事務組合	17,111	114.27	4	4	2	2	2	36	23	12	0	1	0	36
徳之島地区消防組合	21,803	248.03	4	4	1	6	6	50	27	23	0	0	0	50
熊毛地区消防組合	39,550	992.9	10	9	4	6	6	85	41	41	0	3	0	85
大島地区消防組合	65,367	875	13	12	1	12	12	139	66	71	0	2	6	133
計	1,587,111	9,050.68	143	140	25	117	117	1,549	707	819	2	21	325	1,224

※1　救急隊員として専任又は兼任の辞令を受けている救急救命士資格者数は667名，専任及び兼任の者が休日等の時，代替として救急業務に従事する資格者が40名，救急自動車に搭乗しない資格者が127名で，有資格者は計834名いる。
※2　救急救命士運用隊数は，一部運用も含む。

〔現場到着平均所要時間及び収容平均所要時間は令和５年中，左記以外は令和６年４月１日現在〕

医療機関数											人口10万人当たりの救急医療機関数	現場到着平均所要時間（分）	収容平均所要時間（分）
合計	救急告示医療機関					その他の医療機関							
	国公立	公的	私的		計	国公立	公的	私的		計			
			病院	診療所				病院	診療所				
633	3	3	31	4	41	11	4	48	529	592	6.9	9.1	34.8
17	1	0	3	0	4	0	0	4	9	13	20.0	5.2	37.2
36	1	0	0	0	1	2	0	4	29	35	1.9	9.5	40.1
8	1	0	0	0	1	0	0	0	7	7	7.2	8.4	48.3
77	0	1	6	0	7	5	0	5	60	70	7.6	9.5	40.7
39	0	0	2	1	3	0	0	7	29	36	6.4	9.1	45.0
92	1	0	6	0	7	0	0	7	78	85	5.7	9.7	45.5
25	0	0	0	0	0	0	0	6	19	25	0.0	8.0	42.5
31	2	0	1	0	3	2	0	4	22	28	9.1	9.6	49.4
66	0	0	4	0	4	3	0	5	54	62	5.2	8.8	39.3
17	0	0	1	0	1	0	0	3	13	16	4.9	9.9	52.9
60	1	0	3	1	5	0	0	10	45	55	6.9	10.5	45.5
16	0	0	2	0	2	3	0	1	10	14	6.9	9.3	43.3
26	1	0	2	0	3	0	0	4	19	23	8.9	9.8	48.4
36	0	0	1	2	3	0	0	6	27	33	4.0	10.4	53.9
101	2	0	5	1	8	12	0	10	71	93	5.9	10.8	45.9
8	0	0	2	0	2	0	0	0	6	6	11.7	9.5	34.3
8	0	0	2	1	3	0	0	1	4	5	13.8	10.5	44.1
18	0	0	2	0	2	5	0	1	10	16	5.1	10.2	45.3
70	1	0	4	0	5	15	2	3	45	65	7.6	10.4	40.6
1,384	14	4	77	10	105	58	6	129	1,086	1,279	6.6	9.5	41.6

表14　消防本部救急出動件数及び搬送人員

区分 / 消防本部名		事故種別救急出動件										
		計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病
鹿児島市消防局		38,648	87	4	22	1,820	273	221	5,569	125	333	25,986
枕崎市消防本部		1,333	1	1	0	68	15	6	197	4	7	731
出水市消防本部		2,530	1	0	4	161	24	15	382	8	17	1,628
垂水市消防本部		1,126	0	0	1	60	10	4	163	1	6	719
薩摩川内市消防局		4,904	18	2	8	218	45	43	636	9	34	2,896
日置市消防本部		2,772	5	1	4	137	36	36	363	5	18	1,611
霧島市消防局		7,690	6	0	12	511	76	46	1,040	10	71	4,759
いちき串木野市消防本部		1,424	1	0	4	64	31	10	201	4	6	810
南さつま市消防本部		2,106	3	1	5	114	26	29	320	0	6	1,247
姶良市消防本部		4,677	2	0	6	244	35	32	694	13	37	2,947
さつま町消防本部		1,194	1	0	0	58	12	10	190	1	7	681
指宿南九州消防組合		4,793	3	3	5	253	66	29	645	8	28	2,554
阿久根地区消防組合		1,956	2	0	4	73	33	20	353	3	12	1,136
伊佐湧水消防組合		2,096	2	0	0	102	22	4	311	6	18	1,199
大隅曽於地区消防組合		4,954	13	0	5	303	77	33	671	6	34	3,206
大隅肝属地区消防組合		8,528	18	4	4	511	103	47	1,131	24	72	5,646
沖永良部与論地区広域事務組合		957	0	0	5	36	8	11	150	1	3	632
徳之島地区消防組合		1,898	0	0	6	60	12	8	323	5	13	1,222
熊毛地区消防組合		2,556	2	2	6	111	35	9	406	9	6	1,653
大島地区消防組合		4,851	1	1	12	176	21	27	831	16	42	3,122
計		100,993	166	19	113	5,080	960	640	14,576	258	770	64,385
時間別	0～2	4,120	11	2	4	92	8	2	549	36	57	3,053
	2～4	3,262	10	1	1	66	7	0	360	25	43	2,560
	4～6	3,426	12	0	4	122	8	0	406	22	19	2,645
	6～8	6,602	9	2	10	418	41	2	1,084	7	65	4,716
	8～10	12,576	13	3	16	703	167	24	1,939	21	67	7,764
	10～12	13,596	25	1	13	591	205	173	1,926	8	66	7,659
	12～14	12,308	14	2	21	632	124	145	1,635	16	78	7,008
	14～16	11,192	18	2	13	621	192	134	1,681	15	63	6,494
	16～18	10,907	17	2	15	764	138	82	1,720	21	93	6,313
	18～20	9,663	16	1	3	589	41	43	1,448	21	80	6,492
	20～22	7,618	10	3	6	294	17	35	1,084	35	76	5,470
	22～24	5,723	11	0	7	188	12	0	744	31	63	4,211

〔令和６年中〕

数				事故種別搬送人員											
その他				計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
転院搬送	医師搬送	資機材等輸送	その他												
3,609	0	1	598	34,412	21	0	14	1,641	242	214	5,151	98	231	23,213	3,587
291	1	0	11	1,256	1	3	0	64	14	5	182	3	4	687	293
275	3	1	11	2,221	1	0	2	130	24	15	350	6	12	1,406	275
161	0	0	1	1,076	0	0	1	60	10	4	159	0	4	677	161
947	0	0	48	4,308	1	0	2	188	45	42	577	6	25	2,509	913
555	1	0	0	2,588	1	1	1	134	34	35	333	4	13	1,482	550
1,114	10	0	35	6,995	5	0	3	413	71	44	985	11	53	4,312	1,098
291	1	0	1	1,327	1	0	2	60	31	10	188	4	3	740	288
346	0	0	9	1,991	0	1	1	108	26	28	306	0	3	1,171	347
660	1	0	6	4,273	2	0	3	228	35	31	639	12	20	2,643	660
229	2	0	3	1,107	1	0	0	56	12	9	179	0	5	616	229
1,185	4	0	10	4,445	2	3	2	229	60	26	599	6	13	2,328	1,177
317	0	0	3	1,891	2	0	1	76	33	20	344	4	8	1,086	317
423	1	0	8	1,991	1	0	0	99	22	4	296	6	10	1,130	423
598	0	0	8	4,486	9	0	2	238	75	33	619	6	24	2,887	593
954	2	0	12	7,723	5	3	1	473	102	46	1,050	14	47	5,030	952
95	0	0	16	896	0	0	5	36	8	12	140	1	3	599	92
160	0	0	89	1,803	0	0	5	59	12	8	323	5	9	1,222	160
280	17	0	20	2,360	2	2	4	112	35	9	383	6	2	1,527	278
569	1	0	32	3,863	0	1	4	138	19	24	656	8	27	2,428	558
13,059	44	2	921	91,012	55	14	53	4,542	910	619	13,459	200	516	57,693	12,951
225	0	0	81	3,589	2	0	3	85	7	2	482	28	38	2,715	227
139	0	0	50	2,892	4	3	1	61	7	0	320	18	34	2,304	140
130	0	0	58	3,065	9	0	4	111	7	0	377	16	15	2,396	130
177	0	1	70	5,925	2	1	2	355	41	1	1,028	7	47	4,270	171
1,760	12	0	87	11,516	5	2	7	639	156	23	1,855	17	39	7,039	1,734
2,850	8	0	71	12,476	7	1	8	535	195	163	1,797	4	42	6,903	2,821
2,534	13	1	85	11,221	6	1	7	565	119	141	1,515	15	52	6,284	2,516
1,859	5	0	95	10,149	9	2	6	574	179	135	1,555	13	38	5,792	1,846
1,646	6	0	90	9,846	3	2	8	669	132	80	1,585	17	53	5,662	1,635
834	0	0	95	8,569	2	1	2	543	39	43	1,304	15	54	5,735	831
524	0	0	64	6,722	2	1	3	249	16	31	979	27	58	4,835	521
381	0	0	75	5,042	4	0	2	156	12	0	662	23	46	3,758	379

表15　曜日別月別救急出動件数

（令和６年中）

事故種別（件） 区分		火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他				計
												転院搬送	医師搬送	資機材等輸送	その他	
曜日別	月	24	0	16	775	154	51	2,157	25	103	9,903	2,136	6	1	137	15,488
	火	20	2	10	759	163	59	2,080	27	128	9,283	2,063	5	1	122	14,722
	水	25	8	3	693	174	57	1,953	46	141	8,835	1,901	8	0	117	13,961
	木	21	6	16	724	148	51	2,060	32	102	8,947	1,969	9	0	132	14,217
	金	21	3	18	796	155	61	2,041	30	95	8,935	2,324	10	0	126	14,615
	土	30	0	22	708	98	174	2,150	37	94	9,143	1,626	2	0	142	14,226
	日	25	0	28	625	68	187	2,135	61	107	9,339	1,040	4	0	145	13,764
計		166	19	113	5,080	960	640	14,576	258	770	64,385	13,059	44	2	921	100,993
月別	１月	13	0	4	395	61	27	1302	27	65	5,936	1,122	5	0	67	9,024
	２月	13	0	14	356	55	38	1121	20	59	4,746	1,052	2	0	60	7,536
	３月	16	1	3	395	77	46	1193	21	57	5,009	1,054	5	0	89	7,966
	４月	11	0	13	394	51	42	1094	20	73	4,414	1,052	8	0	68	7,240
	５月	12	0	8	388	61	62	1175	20	61	4,724	1048	3	0	73	7,635
	６月	10	3	12	400	68	50	1129	13	69	4,873	1068	1	0	87	7,783
	７月	22	0	12	508	159	106	1177	22	79	7,447	1239	4	0	97	10,872
	８月	12	15	16	486	129	82	1271	20	68	6,396	1130	3	0	83	9,711
	９月	6	0	7	394	97	65	1091	20	61	4,910	991	3	1	69	7,715
	10月	8	0	13	427	80	47	1159	25	74	4,674	987	1	0	72	7,567
	11月	18	0	4	469	53	48	1300	28	47	4,590	1063	2	0	74	7,696
	12月	25	0	7	468	69	27	1564	22	57	6,666	1,253	7	1	82	10,248

4　応急手当指導員等養成講習の状況

表16
【指導員】

区分		講習修了者数						登録を抹消した者	講習回数
		計	消防職員	消防職員の退職者	消防団員	救命士等の医療従事者	その他		
当該年中修了者	応急手当指導員講習Ⅰ	32	24	0	8	0	0	19	17
	応急手当指導員講習Ⅱ	36	22	0	14	0	0	0	23
	応急手当指導員講習Ⅲ	1	1	0	0	0	0	0	1
	消防長認定者	110	108	0	2	0	0	0	0
	応急手当指導員講習Ⅰ免除者	9	3	6	0	0	0	4	0
	計	188	158	6	24	0	0	23	41
前年中までの修了者	応急手当指導員講習Ⅰ	526	405	45	72	4	0	29	108
	応急手当指導員講習Ⅱ	1,685	632	6	1,047	0	0	0	507
	応急手当指導員講習Ⅲ	10	1	0	9	0	0	4	3
	消防長認定者	677	606	43	3	23	2	21	0
	応急手当指導員講習Ⅰ免除者	311	310	1	0	0	0	24	0
	計	3,209	1,954	95	1,131	27	2	78	618
合計		3,397	2,112	101	1,155	27	2	101	659

表17
【普及員】

区分		講習修了者数						登録を抹消した者	講習回数
		計	消防職員	消防職員の退職者	消防団員	救命士等の医療従事者	その他		
当該年中修了者	応急手当普及員講習Ⅰ	51	0	0	5	2	44	47	9
	応急手当普及員講習Ⅱ	0	0	0	0	0	0	0	0
	消防長認定者	3	0	0	0	0	3	0	0
	応急手当普及員講習Ⅱ免除者	1	0	1	0	0	0	0	0
	計	55	0	1	5	2	47	47	9
前年中までの修了者	応急手当普及員講習Ⅰ	879	1	0	63	20	795	34	77
	応急手当普及員講習Ⅱ	21	0	1	0	20	0	0	1
	消防長認定者	25	0	0	0	1	24	0	0
	応急手当普及員講習Ⅱ免除者	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	925	1	1	63	41	819	34	78
合計		980	1	2	68	43	866	81	87

第２　救助活動の概況

１　救助業務実施体制

令和７年４月１日現在，救助隊は34隊配置されており，そのうち５隊が特別救助隊で，１隊が高度救助隊である。

また，478人の救助隊員のうち41.8%にあたる200人が専任救助隊員である。

表18　救助体制

（単位：隊，人）

区分 / 消防本部	省令	救助隊数 専任救助隊	救助隊数 兼任救助隊	救助隊数 計	救助隊員数 専任救助隊員	救助隊員数 兼任救助隊員	救助隊員数 計
鹿児島市消防局	3	3	0	3	42	0	42
	4	2	0	2	28	0	28
	5	1	0	1	14	0	14
枕崎市消防本部	3	0	1	1	0	10	10
	4	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0
出水市消防本部	3	1	0	1	8	0	8
	4	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0
垂水市消防本部	3	0	1	1	0	9	9
	4	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0
薩摩川内市消防局	3	1	0	1	10	0	10
	4	1	0	1	10	0	10
	5	0	0	0	0	0	0
日置市消防本部	3	0	1	1	0	23	23
	4	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0
霧島市消防局	3	1	1	2	14	12	26
	4	1	0	1	14	0	14
	5	0	0	0	0	0	0
いちき串木野市消防本部	3	0	1	1	0	7	7
	4	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0
南さつま市消防本部	3	1	0	1	0	11	11
	4	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0
姶良市消防本部	3	1	0	1	10	0	10
	4	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0
さつま町消防本部	3	0	1	1	0	13	13
	4	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0
指宿南九州消防組合	3	0	2	2	0	24	24
	4	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0
阿久根地区消防組合	3	0	1	1	0	27	27
	4	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0
伊佐湧水消防組合	3	0	2	2	0	34	34
	4	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0
大隅曽於地区消防組合	3	2	0	2	20	0	20
	4	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0
大隅肝属地区消防組合	3	1	2	3	10	36	46
	4	1	0	1	10	0	10
	5	0	0	0	0	0	0
沖永良部与論地区広域事務組合	3	0	1	1	0	21	21
	4	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0
徳之島地区消防組合	3	0	1	1	0	31	31
	4	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0
熊毛地区消防組合	3	0	1	1	0	20	20
	4	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0
大島地区消防組合	3	1	0	1	10	0	10
	4	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0
県計	3	12	16	28	124	278	402
	4	5	0	5	62	0	62
	5	1	0	1	14	0	14

※　省令３は省令第３条の規定による救助隊，省令４は省令４条の規定による救助隊（特別救助隊），省令５は省令第５条の規定による救助隊（高度救助隊）

表19　救助隊が搭乗する車両

区分 / 消防本部	救助工作車	はしご車	屈折はしご車	ポンプ車	水槽付ポンプ車	化学車	その他	計
鹿児島市消防局	3	0	0	0	0	0	0	3
枕崎市消防本部	1	0	1	0	0	0	0	2
出水市消防本部	1	1	0	0	0	0	0	2
垂水市消防本部	0	0	0	0	0	0	1	1
薩摩川内市消防局	1	0	0	0	0	0	0	1
日置市消防本部	1	0	0	0	0	0	0	1
霧島市消防局	2	1	0	1	1	0	0	5
いちき串木野市消防本部	1	1	0	0	0	0	0	2
南さつま市消防本部	1	1	0	0	0	0	1	3
姶良市消防本部	1	0	0	0	0	0	0	1
さつま町消防本部	1	0	0	0	0	0	0	1
指宿南九州消防組合	2	1	0	0	0	0	0	3
阿久根地区消防組合	1	0	0	0	0	0	1	2
伊佐湧水消防組合	2	0	0	0	0	0	0	2
大隅曽於地区消防組合	2	1	0	2	2	0	2	9
大隅肝属地区消防組合	2	1	0	0	0	0	0	3
沖永良部与論地区広域事務組合	1	0	0	0	0	0	0	1
徳之島地区消防組合	1	0	0	0	0	0	0	1
熊毛地区消防組合	1	0	0	0	0	0	0	1
大島地区消防組合	1	1	0	0	0	0	0	2
県計	26	8	1	3	3	0	5	46

２　救助業務実施状況

令和６年中における救助業務の実施状況は，救助出動件数823件，救助活動件数501件，救助人員555人となっている。（表22）

これを前年と比較すると出動件数は25件（3.1%）の増加，活動件数は25件（5.3%）の増加，救助人員は23人（4.3%）の増加となっている。

図８　過去20年間の救助業務実施状況の推移

（単位：件，人）

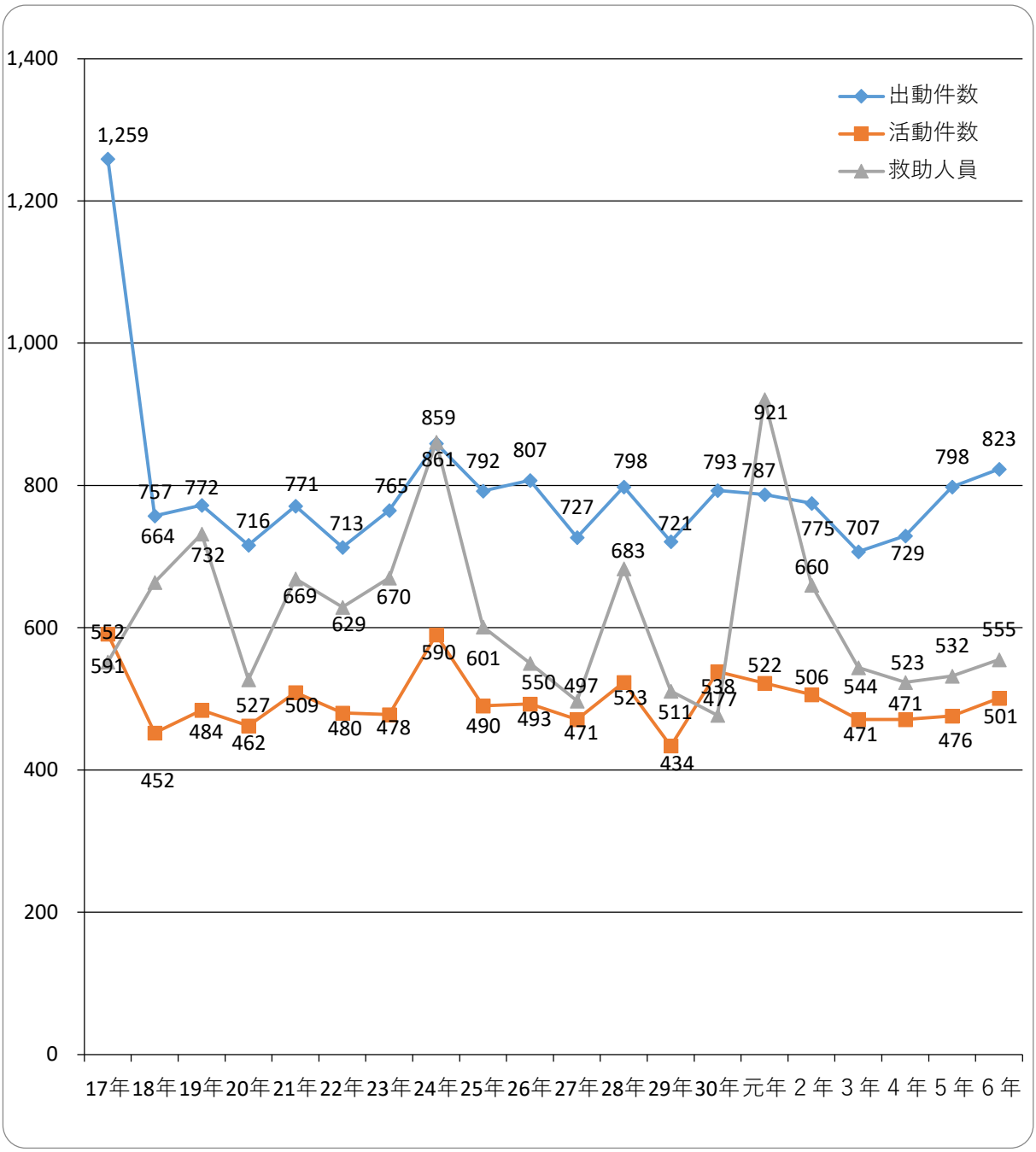


表20　事故種別出動件数及び出動人員の状況（令和６年）

（単位：件，人）

事故種別 消防本部		火災	交通事故	水難事故	自風然水災害害等	機械による事故	建物等事故による	ガス及び酸欠事故	破裂事故	その他の事故	計
鹿児島市消防局		2	65	16	0	4	17	5	0	19	128
枕崎市消防本部		0	6	0	0	1	2	0	0	4	13
出水市消防本部		1	12	3	0	2	0	0	0	4	22
垂水市消防本部		0	7	1	0	0	0	0	0	0	8
薩摩川内市消防局		3	13	6	3	1	11	0	0	6	43
日置市消防本部		1	30	5	0	3	0	1	0	0	40
霧島市消防局		0	58	9	0	1	18	3	0	41	130
いちき串木野市消防本部		0	7	3	0	0	2	0	0	5	17
南さつま市消防本部		4	12	3	0	1	5	0	0	10	35
姶良市消防本部		0	11	6	0	0	0	0	0	2	19
さつま町消防本部		0	7	0	0	0	0	0	0	2	9
指宿南九州消防組合		1	31	3	3	7	18	0	0	29	92
阿久根地区消防組合		0	8	0	0	1	0	0	0	2	11
伊佐湧水消防組合		0	13	1	0	1	0	0	0	6	21
大隅曽於地区消防組合		0	29	0	0	9	1	0	0	12	51
大隅肝属地区消防組合		8	32	3	2	9	6	0	0	17	77
沖永良部与論地区広域事務組合		0	1	4	2	2	0	0	0	3	12
徳之島地区消防組合		0	3	2	0	1	0	0	0	4	10
熊毛地区消防組合		0	13	4	0	1	0	0	0	15	33
大島地区消防組合		0	25	8	0	0	2	0	0	17	52
救助出動件数　計		20	383	77	10	44	82	9	0	198	823
救助出動人員	専任救助隊員	55	927	210	7	74	172	15	0	327	1,787
	兼任救助隊員	20	591	87	10	92	99	9	0	310	1,218
	消防隊員	199	1,235	383	26	149	202	25	0	744	2,963
	救急隊員	71	1,658	249	13	143	228	12	0	623	2,997
	消防団員	316	0	36	10	0	7	0	0	727	1,096
	計	661	4,411	965	66	458	708	61	0	2,731	10,061

表21　事故種別活動件数及び活動人員の状況（令和６年）

（単位：件，人）

事故種別 / 消防本部		火災	交通事故	水難事故	自然風水害等	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	破裂事故	その他の事故	計
鹿児島市消防局		2	42	12	0	4	14	0	0	17	91
枕崎市消防本部		0	3	0	0	1	1	0	0	4	9
出水市消防本部		1	4	2	0	2	0	0	0	3	12
垂水市消防本部		0	6	1	0	0	0	0	0	0	7
薩摩川内市消防局		3	9	3	2	1	8	0	0	5	31
日置市消防本部		1	19	2	0	1	0	1	0	0	24
霧島市消防局		0	22	5	0	0	11	2	0	27	67
いちき串木野市消防本部		0	2	1	0	0	1	0	0	3	7
南さつま市消防本部		4	6	2	0	1	2	0	0	8	23
姶良市消防本部		0	10	4	0	0	0	0	0	1	15
さつま町消防本部		0	5	0	0	0	0	0	0	2	7
指宿南九州消防組合		1	17	2	2	5	10	0	0	25	62
阿久根地区消防組合		0	4	0	0	1	0	0	0	2	7
伊佐湧水消防組合		0	4	0	0	0	0	0	0	5	9
大隅曽於地区消防組合		0	8	0	0	4	1	0	0	9	22
大隅肝属地区消防組合		8	20	1	0	7	6	0	0	13	55
沖永良部与論地区広域事務組合		0	1	4	1	2	0	0	0	2	10
徳之島地区消防組合		0	3	2	0	1	0	0	0	4	10
熊毛地区消防組合		0	7	1	0	0	0	0	0	15	23
大島地区消防組合		0	1	3	0	0	2	0	0	4	10
救助活動件数　計		20	193	45	5	30	56	3	0	149	501
救助活動人員	専任救助隊員	46	353	120	3	52	98	1	0	191	864
	兼任救助隊員	16	242	53	5	61	48	7	0	222	654
	消防隊員	80	498	219	13	87	124	8	0	495	1,524
	救急隊員	40	699	124	3	79	131	3	0	397	1,476
	消防団員	25	0	7	10	0	7	0	0	674	723
	計	207	1,792	523	34	279	408	19	0	1,979	5,241

（注）「救助活動件数」とは、救助出動件数のうち、実際に救助活動を行った件数をいう。

表22　事故種別救助人員の状況（令和６年）

（単位：人）

事故種別 消防本部	火災	交通事故	水難事故	自然風水害等災害	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	破裂事故	その他の事故	計
鹿児島市消防局	2	56	10	0	5	16	0	0	16	105
枕崎市消防本部	0	6	0	0	1	2	0	0	4	13
出水市消防本部	1	4	2	0	2	0	0	0	8	17
垂水市消防本部	0	7	1	0	0	0	0	0	0	8
薩摩川内市消防局	2	10	2	4	1	7	0	0	5	31
日置市消防本部	0	24	2	0	1	0	1	0	0	28
霧島市消防局	0	24	5	0	0	11	2	0	27	69
いちき串木野市消防本部	0	2	1	0	0	2	0	0	3	8
南さつま市消防本部	4	5	2	0	1	2	0	0	8	22
姶良市消防本部	0	20	4	0	0	0	0	0	1	25
さつま町消防本部	0	7	0	0	0	0	0	0	2	9
指宿南九州消防組合	1	19	2	0	5	9	0	0	25	61
阿久根地区消防組合	0	15	0	0	1	0	0	0	2	18
伊佐湧水消防組合	0	6	0	0	0	0	0	0	6	12
大隅曽於地区消防組合	0	8	0	0	4	1	0	0	10	23
大隅肝属地区消防組合	0	25	1	0	7	6	0	0	13	52
沖永良部与論地区広域事務組合	0	1	4	1	2	0	0	0	2	10
徳之島地区消防組合	0	4	2	0	1	0	0	0	4	11
熊毛地区消防組合	0	7	1	0	0	0	0	0	15	23
大島地区消防組合	0	1	3	0	0	2	0	0	4	10
救助人員　計	10	251	42	5	31	58	3	0	155	555

表23　救助活動のための機械器具等の保有状況（救助隊保有分）

一般用救助用器具	かぎ付きはしご	37
	三連はしご	30
	金属折りたたみはしご又はワイヤはしご	14
	空気式救助マット	10
	救命索発射銃	29
	サバイバースリング又は救助用縛帯	89
	平担架	16
重量物排除用器具	油圧ジャッキ	29
	油圧スプレッダー	19
	可搬ウィンチ	34
	マンホール救助器具	28
	救助用簡易起重機	5
	マット型空気ジャッキ	31
	大型油圧スプレッダー	28
	救助用支柱器具	22
	チェーンブロック	11
切断用器具	油圧切断機	19
	エンジンカッター	34
	ガス溶断機	17
	チェンソー	51
	鉄線カッター	52
	空気鋸	30
	大型油圧切断機	28
	空気切断機	17
	コンクリート・鉄筋切断用チェーンソー	7
破壊用器具	万能斧	76
	ハンマー	40
	携帯用コンクリート破壊器具	23
	削岩機	20
	ハンマドリル	23
測定用器具	生物剤検知器	3
	可燃性ガス測定器	28
	有毒ガス測定器	33
	酸素濃度測定器	16
	放射線測定器	62
	化学剤検知器	8
呼吸保護用器具	空気呼吸器	201
	空気補充用ボンベ	280
	酸素呼吸器	31
	簡易呼吸器	6
	防塵マスク	109
	送排風機	29
	エアラインマスク	5

隊員保護用器具	耐電手袋	141
	耐電衣	66
	耐電ズボン	59
	耐電長靴	101
	防塵メガネ	72
	携帯警報器	87
	防毒マスク	98
	化学防護服（陽圧式化学防護服を除く）	102
	陽圧式化学防護服	56
	耐熱服	11
	放射線防護服	14
	特殊ヘルメット	0
除染用器具	除染シャワー（歩行可能者用）	3
	除染シャワー（歩行可能者・担架用）	2
	除染剤散布器	3
	除染シャワー（多人数対応用）	0
水難救助用器具	潜水器具	59
	救命胴衣	277
	水中投光器	21
	救命浮環	89
	浮標	10
	救命ボート	20
	船外機	12
	水中スクーター	0
	水中無線機	8
	水中時計	26
	水中テレビカメラ	0
山岳救助用器具	登山器具	8
	バスケット型担架	45
検索用器具	簡易画像探索機	9
高度救助器具	画像探索機	10
	地中音響探知機	1
	熱画像直視装置	19
	夜間暗視装置	2
	電磁波探査装置	0
	二酸化炭素探査装置	0
	水中探査装置	0
	地震警報器	1
その他の救助用器具	投光器	49
	携帯投光器	32
	携帯拡声器	50
	携帯無線機	73
	応急処置用セット	23
	車両移動器具	18
	緩降機	17
	ロープ登降機	44
	救助用降下機	55
	発電機	51

第３　自衛隊災害派遣による離島急患搬送

離島における医療体制の実情により，現地では治療困難な患者で、一刻も早く専門病院での手当てが必要である者に対して、昭和36年から自衛隊に対し、災害派遣要請（航空機搬送）を実施している。

搬送機関・活動範囲

海上自衛隊第１航空群　鹿屋航空分遣隊（鹿屋市）

十島村以北

陸上自衛隊第15旅団　第15ヘリコプター隊（沖縄県那覇市）

奄美大島以南

１　自衛隊災害派遣（離島急患搬送）の状況

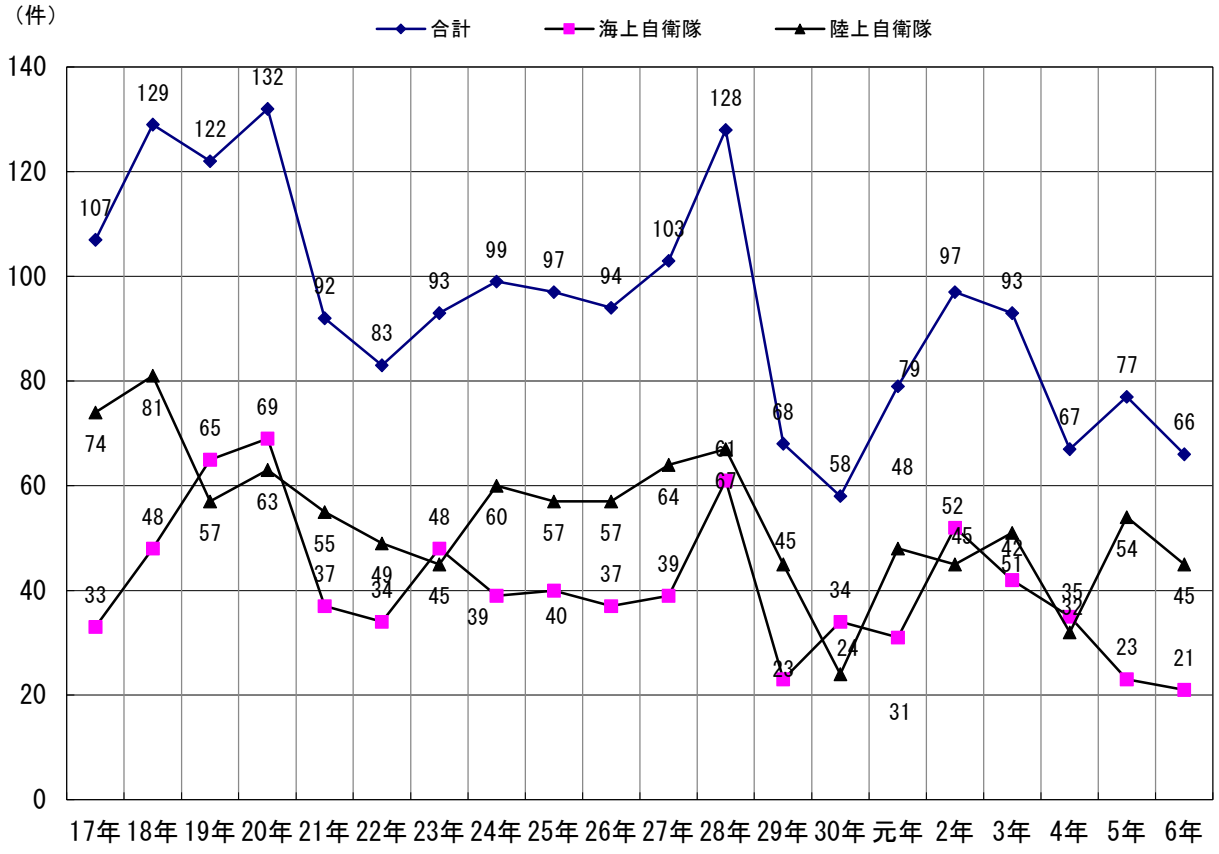
令和６年中における急患搬送出動件数は66件である。（図９）

出動件数66件を郡別にみると、大島郡（奄美市を含む）が45件（全体の58.4％）で、次に熊毛郡（西之表市を含む）が18件（同23.4％）、鹿児島郡が3件（同3.9％）となっている。（図10及び表24）

また、月別では、１月の10件が最も多く、時間帯別（派遣要請時間）では18時から20時までが18件（同27.3％）で最も多くなっている。（表25）

令和６年中の搬送人員を傷病別にみると、循環器系疾患によるものが29人（全体の43.9％）で最も多く、次にその他が11人（同16.7％）となっている。（表26及び表27）

図９　過去20年間の災害派遣（急患搬送）出動件数



（注）「海上自衛隊」には、教育航空集団を、「陸上自衛隊」には南西航空混成団をそれぞれ含んでいる。

図10　過去20年間の市・郡別災害派遣（急患搬送）の出動件数（その１）

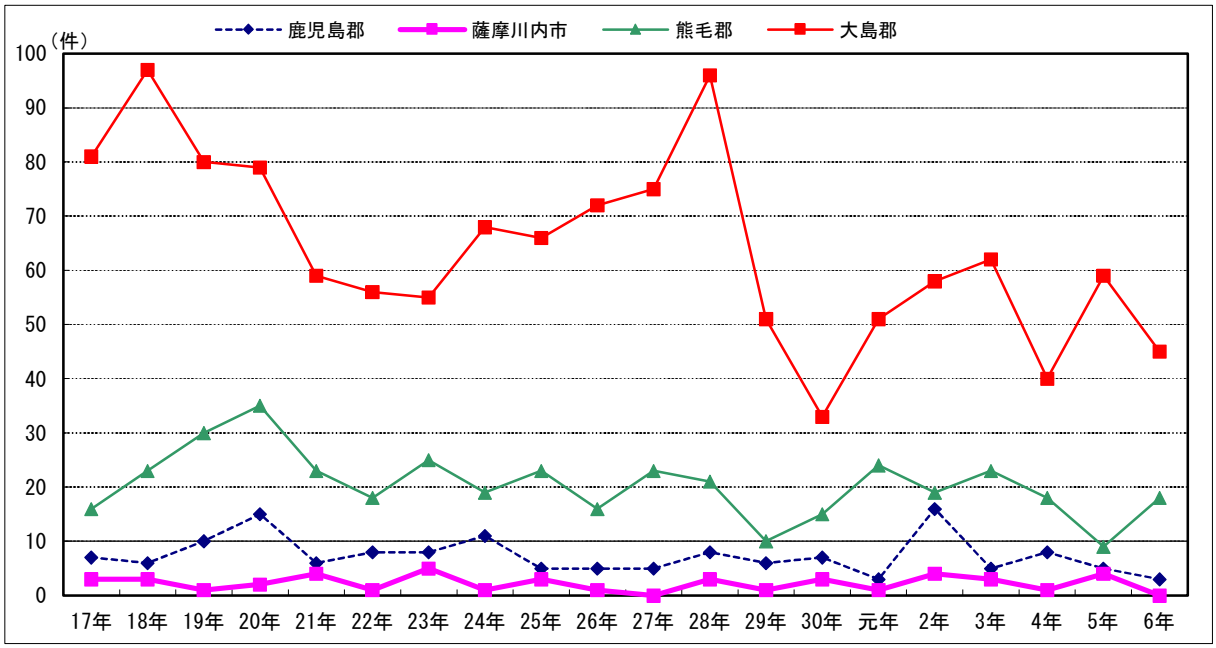


表24　過去20年間の市・郡別災害派遣（急患搬送）出動件数（その２）

（年中）

郡別／年	計	鹿児島郡	薩摩川内市	熊毛郡	大島郡	計のうち不搬送件数
平成 17	107 (74)	7	3	16	81 (74)	
18	129 (81)	6	3	23	97 (81)	
19	121 (56)	10	1	30	80 (56)	鹿屋1件
20	131 (64)	15 (1)	2	35	79 (63)	鹿屋2件，沖縄2件
21	92 (55)	6	4	23	59 (55)	鹿屋1件
22	83 (49)	8	1	18	56 (49)	
23	93 (45)	8	5	25	55 (45)	鹿屋1件，沖縄2件
24	99 (61)	11 (1)	1	19	68 (60)	鹿屋1件，沖縄1件
25	97 (57)	5	3	23	66 (57)	沖縄1件
26	94 (57)	5	1	16	72 (57)	沖縄1件
27	103 (64)	5	0	23	75 (64)	沖縄1件
28	128 (67)	8	3	21	96 (67)	
29	68 (45)	6	1	10	51 (45)	沖縄1件
30	58 (24)	7	3	15	33 (24)	
元	79 (48)	3	1	24	51 (48)	
2	97 (45)	16	4	19	58 (45)	
3	93 (51)	5	3	23	62 (51)	
4	67 (32)	8	1	18	40 (32)	
5	77 (54)	5	4	9	59 (54)	
6	66 (45)	3	0	18	45 (45)	
計	1,882 (1,074)	147 (2)	44	408	1,283 (1,072)	沖縄分構成比
構成比率	100.0%	7.8%	2.3%	21.7%	68.2%	(57.1%)

（注）　１　（　）内は沖縄自衛隊出動件数の内書きである。
　　２　便宜上、熊毛郡には西之表市、大島郡には奄美市をそれぞれ含めている。
　　３　平成20年及び24年の鹿児島郡には、各年1件ずつ、離島外からの搬送を含む。

余　　白

表25　過去20年間の月別及び時間帯別災害派遣（離島急患搬送）出動件数

区分	年別	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
月別	1	9 (5)	11 (5)	8 (4)	21 (11)	12 (5)	7 (4)	11 (3)	3 (2)	14 (6)	6 (3)
	2	8 (8)	11 (8)	8 (3)	9 (4)	8 (8)	9 (7)	4 (4)	13 (8)	1 (1)	2 (1)
	3	10 (7)	9 (7)	16 (10)	15 (6)	4 (4)	3 (2)	9 (4)	5 (3)	9 (6)	10 (6)
	4	10 (7)	11 (7)	9 (6)	9 (3)	6 (4)	7 (3)	5 (1)	11 (5)	7 (3)	10 (8)
	5	11 (7)	7 (6)	4 (1)	9 (6)	9 (5)	5 (4)	5 (4)	5 (4)	5 (4)	5 (2)
	6	8 (6)	11 (5)	10 (4)	5 (3)	7 (6)	6 (4)	8 (1)	8 (4)	8 (4)	8 (5)
	7	7 (6)	11 (7)	2 (2)	7 (4)	6 (5)	5 (3)	7 (6)	9 (6)	15 (7)	7 (5)
	8	5 (5)	13 (7)	11 (6)	10 (5)	10 (5)	6 (4)	6 (2)	9 (7)	2 (1)	8 (7)
	9	8 (5)	8 (4)	7 (3)	4 (2)	8 (3)	5 (4)	9 (5)	7 (5)	6 (5)	6 (2)
	10	13 (10)	6 (5)	21 (8)	12 (4)	9 (5)	11 (1)	10 (7)	9 (4)	10 (7)	12 (8)
	11	8 (4)	17 (9)	13 (4)	18 (8)	6 (1)	10 (4)	12 (4)	11 (8)	12 (8)	9 (5)
	12	10 (4)	14 (11)	13 (6)	13 (7)	7 (4)	9 (9)	7 (4)	9 (4)	8 (5)	11 (5)
計		107 (74)	129 (81)	122 (57)	132 (63)	92 (55)	83 (49)	93 (45)	99 (60)	97 (57)	94 (57)
時間別	0～2	3 (3)	6 (3)	2 (1)	6 (1)	9 (3)	7 (6)	5	8 (5)	5 (4)	8 (5)
	2～4	4 (2)	3 (2)	2 (1)	4 (2)	2 (1)	3	5 (2)	4 (2)	6 (3)	4 (1)
	4～6	4 (2)	5 (3)	5 (2)	3 (2)	3 (1)	1 (1)	1	5 (2)	2 (1)	3 (2)
	6～8	10 (8)	5 (3)	7 (4)	3	2 (1)	1	1 (1)	5 (5)	3 (3)	5 (4)
	8～10	7 (5)	11 (5)	13 (4)	13 (4)	4 (2)	9 (6)	9 (4)	5 (5)	3 (3)	9 (6)
	10～12	14 (9)	21 (14)	19 (11)	12 (6)	13 (11)	9 (4)	10 (8)	9 (6)	10 (9)	6 (3)
	12～14	11 (10)	19 (13)	11 (7)	15 (11)	11 (7)	12 (6)	6 (2)	5 (2)	14 (9)	10 (8)
	14～16	8 (5)	5 (3)	10 (5)	18 (10)	9 (7)	11 (8)	5 (2)	7 (5)	5 (3)	6 (5)
	16～18	14 (9)	18 (15)	10 (3)	11 (8)	11 (5)	7 (5)	11 (8)	13 (8)	14 (8)	10 (3)
	18～20	9 (6)	13 (7)	21 (5)	11 (4)	10 (5)	5 (2)	14 (3)	15 (9)	16 (6)	13 (9)
	20～22	14 (8)	11 (8)	13 (8)	13 (5)	7 (5)	10 (6)	20 (12)	11 (6)	10 (4)	9 (6)
	22～24	9 (7)	12 (5)	9 (6)	23 (10)	11 (7)	8 (5)	6 (3)	12 (5)	9 (4)	11 (5)

（注）１　（　　）内は沖縄自衛隊出動件数の内書きである。
　　２　「時間帯」は，自衛隊への派遣要請時間である。

（年中）

27	28	29	30	元	2	3	4	5	6	計
6 (4)	17 (10)	6 (5)	5 (3)	4 (1)	5 (1)	12 (9)	7 (4)	8 (4)	10 (7)	195 (101)
10 (6)	5 (3)	2 (2)	7 (2)	7 (4)	6 (3)	7 (5)	6 (1)	9 (4)	4 (4)	139 (90)
9 (8)	11 (7)	3 (2)	4 (2)	7 (5)	7 (3)	6 (3)	6 (2)	6 (6)	4 (3)	165 (101)
6 (3)	9 (3)	6 (5)	3 (1)	3 (3)	3 ()	6 (3)	6 (4)	5 (4)	6 (6)	143 (79)
4 (4)	8 (4)	4 (1)	5 (1)	6 (5)	4 (2)	6 (2)	9 (4)	9 (7)	5 (4)	136 (88)
3 (2)	11 (5)	2 (1)	2	7 (6)	8 (4)	3 ()	6 (3)	3 (2)	2	138 (69)
16 (11)	15 (10)	6 (2)	5 (4)	6 (4)	11 (6)	5 (3)	8 (5)	3 (2)	5 (3)	173 (108)
9 (4)	15 (5)	10 (7)	5 (2)	7 (6)	6 (4)	9 (6)	2 (2)	5 (4)	5 (3)	152 (89)
10 (4)	10 (8)	6 (4)	5 (4)	5 (2)	8 (2)	10 (5)	3 (2)	4 (4)	8 (6)	145 (89)
11 (6)	6 (5)	8 (7)	5 (2)	9 (5)	7 (4)	6 (1)	4 (2)	7 (6)	2 (2)	189 (103)
11 (6)	11 (2)	8 (5)	7 (1)	9 (4)	10 (5)	12 (9)	5 (2)	7 (5)	8 (3)	218 (107)
8 (6)	10 (5)	7 (4)	5 (2)	9 (3)	22 (11)	11 (5)	5 (1)	11 (6)	7 (4)	204 (114)
103 (64)	128 (67)	68 (45)	58 (24)	79 (48)	97 (45)	93 (51)	67 (32)	77 (54)	66 (45)	1997 (1138)
7 (6)	11 (5)	7 (4)	3 (1)	8 (4)	9 (3)	6 (2)	7 (3)	6 (5)	10 (7)	140 (76)
7 (2)	7 (6)		4 (2)	6 (2)	5 (2)	6 (5)		7 (6)	4 (1)	87 (45)
	8 (3)	3 (1)	3	0 ()	5 (3)	4 (3)	3 (1)	2 (2)	0	61 (28)
2 (2)	5 (3)		2	0 ()	3 (2)	2 (2)	4	2 (1)	1 (1)	64 (41)
5 (4)	10 (6)	1 (1)	0	2 (2)	0 ()	3 (2)	1 (1)	2 (2)	0	120 (75)
12 (8)	16 (7)	1	0	2 (2)	3 (3)	4 (1)	3 (2)	3 (3)	1 (1)	193 (126)
10 (6)	11 (8)	1 (1)	3 (1)	2 ()	10 (5)	10 (4)	1 (1)	7 (3)	1	183 (112)
9 (2)	8 (4)	2 (2)	1 (1)	2 (2)	11 (7)	5 (5)	4 (1)	1 (1)	2 (2)	134 (84)
17 (11)	12 (7)	9 (6)	2 (1)	15 (8)	5 (2)	9 (4)	9 (3)	8 (5)	7 (7)	228 (137)
17 (12)	25 (11)	11 (9)	19 (10)	13 (9)	16 (6)	19 (10)	13 (4)	21 (11)	18 (11)	307 (147)
11 (8)	7 (2)	23 (15)	13 (6)	17 (8)	20 (5)	16 (8)	12 (9)	11 (10)	13 (9)	276 (151)
6 (3)	8 (5)	10 (6)	8 (2)	12 (11)	10 (7)	9 (5)	10 (7)	7 (5)	9 (6)	204 (116)

表26　令和６年中の市町村別搬送人員傷病別内訳

市町村別＼傷病別		合　計	交通事故		労働災害		脳疾患	頭部損傷（一般負傷）	産科・婦人科	小児科	内臓疾患	その他
			頭部	その他	頭部	その他						
鹿児島郡	三島村	1									1	
	十島村	2						1				1
薩摩川内市												
熊毛郡（西之表市含）	西之表市	5							1		3	1
	中種子町	1		1								
	南種子町	2							1		1	
	屋久島町	10									8	2
大島郡（奄美市含）	奄美市	3　(3)				1　(1)					2　(2)	
	龍郷町	1　(1)									1　(1)	
	大和村											
	宇検村											
	瀬戸内町											
	喜界町	9　(9)					1　(1)				6　(6)	2　(2)
	徳之島町	8　(8)		1　(1)	1　(1)				1　(1)		4　(4)	1　(1)
	天城町	5　(5)					2　(2)				2　(2)	1　(1)
	伊仙町	4　(4)		1　(1)		1　(1)	1　(1)				1　(1)	
	和泊町	5　(5)									4　(4)	1　(1)
	知名町	5　(5)					1　(1)				3　(3)	1　(1)
	与論町	5　(5)					2　(2)				2　(2)	1　(1)
計		66　(45)		3　(2)	1　(1)	2　(2)	7　(7)	1	3　(1)		38　(25)	11　(7)

（注１）　（　　）内は，沖縄自衛隊搬送人員の内書きである。
（注２）　不搬送の傷病者は含まない。

表27　過去20年間の離島急患搬送人員及び傷病別内訳

（年中）

傷病別 / 年別	計	交通事故		労働災害		脳疾患	頭部損傷（一般負傷）	産科・婦人科	小児科	内臓疾患	その他
		頭部	その他	頭部	その他						
17	103 (71)		1			21 (16)	4 (2)	21 (15)	5 (5)	46 (30)	5 (3)
18	126 (79)		4 (4)	1 (1)	2 (1)	24 (9)		29 (20)	11 (7)	51 (35)	4 (2)
19	117 (55)		1 (1)		4 (2)	19 (11)		21 (11)	15 (7)	47 (20)	10 (3)
20	131 (64)	1	1		3 (1)	29 (17)	2 (1)	23 (9)	18 (11)	45 (21)	9 (4)
21	93 (56)	1 (1)	2	2 (1)	1	19 (11)		16 (10)	10 (6)	37 (25)	5 (2)
22	83 (49)	2 (1)	1 (1)			17 (9)	4 (3)	14 (7)	2 (2)	30 (18)	13 (8)
23	94 (46)		1			21 (9)	1 (1)	22 (6)		36 (23)	13 (7)
24	101 (61)	1	5 (2)			18 (10)	2 (1)	13 (5)	5 (5)	46 (32)	11 (6)
25	96 (56)	1 (1)	1		3 (2)	12 (4)		21 (13)	1 (1)	38 (25)	19 (10)
26	93 (56)	2 (1)	6 (4)		3 (3)	7 (3)		17 (10)	6 (4)	39 (21)	13 (10)
27	104 (65)	4 (3)	4 (1)	3 (1)	3	13 (10)	4 (2)	13 (8)	1	49 (33)	10 (7)
28	128 (67)	2	1 (1)		2	24 (17)	3 (1)	17 (9)	4 (2)	48 (22)	27 (15)
29	68 (45)		3 (3)			17 (11)	1 (1)	2 (1)	9 (7)	26 (17)	10 (5)
30	58 (24)			1 (1)	1	6 (4)		7 (2)	2 (1)	30 (14)	11 (2)
元	79 (48)				3 (3)	21 (9)	2 (2)	5 (4)	3 (2)	40 (24)	5 (4)
2	104 (55)	1	2 (1)	1		13 (9)	2	4 (1)	4 (4)	48 (27)	29 (13)
3	93 (51)		3 (2)	1 (1)		5 (3)	1 (1)	3 (1)	6 (5)	59 (30)	15 (8)
4	67 (32)		1 (1)		1	8 (5)		6 (2)	1 (1)	39 (19)	11 (4)
5	77 (54)	2 (1)	2 (2)		2	7 (6)	3 (1)	4	1 (1)	40 (33)	16 (10)
6	66 (45)		3 (2)	1 (1)	2 (2)	7 (7)	1	3 (1)		38 (25)	11 (7)

（注）・本表は、鹿屋の海上自衛隊第1航空群及び沖縄の陸上自衛隊第15旅団（内書き）が搬送した人員である。
・不搬送の傷病者は含まない。

第４　消防・防災ヘリコプターの活動

１　消防・防災ヘリコプターの導入

県では，大規模災害時における広範な消防防災活動を行うほか，救助・救急・捜索等の緊急運航など幅広く活用するとともに，災害時の被害状況をより的確かつ迅速に把握するため，消防・防災ヘリコプター「さつま」を導入して，平成10年４月１日，運航拠点となる枕崎ヘリポートに防災航空センターを設置して鹿児島県防災航空隊を発足させた。

現在，防災航空隊員は，鹿児島市，枕崎市，南さつま市及び指宿南九州の４消防本部から派遣された隊員７名（令和２年４月に１名増員）で編成しており，令和元年５月11日からは，経年劣化による不具合の発生を防止し，より広域的，安定的な運航を図る目的で新しい機種に変更して運航を行っているところである。

２　消防・防災ヘリコプターの活動内容

消防・防災ヘリコプターは以下の活動を行うこととしている。

(1) 災害応急対策活動
　ア　被災状況等の調査及び情報収集活動
　イ　食糧，衣料その他の生活必需品及び復旧資材等の救援物資及び人員等の搬送
　ウ　災害に関する情報，警報等の伝達等広報宣伝活動
　エ　その他，災害応急対策活動上，特に，航空機による活動が有効と認められる場合
(2) 救急活動
　ア　山村及び離島等からの救急患者の搬送
　イ　傷病者発生地への医師搬送及び医療機材等の搬送
　ウ　高度医療機関のない地域からの傷病者の施設間搬送
　エ　消防・防災ヘリの積極的活用としての本土内搬送
　オ　その他，救急活動上，特に，航空機による活動が有効と認められる場合
(3) 火災防ぎょ活動
　ア　林野火災等における空中からの消火活動
　イ　被害状況調査及び情報収集活動
　ウ　消防隊員及び消防資機材等の搬送
　エ　その他，火災防ぎょ活動上，特に，航空機による活動が有効と認められる場合
(4) 救助活動
　ア　河川及び海等での水難事故並びに，山岳遭難事故等における捜索又は救助
　イ　高層建築物火災における救助
　ウ　山崩れ等の災害により，陸上から接近できない被災者等の救出
　エ　高速道路及び自動車専用道路での事故救助
　オ　その他，救助活動上，特に，航空機による活動が有効と認められる場合
(5) 広域航空消防防災応援活動等
　ア　県が締結している他県との相互応援協定等による相互応援
(6) 災害予防活動
(7) 自隊訓練のための活動
(8) 各種防災訓練等への参加等
(9) その他知事が必要と認める活動

表28　消防・防災ヘリコプター「さつま」の諸元・性能

	～令和元年５月11日(旧機体)	令和元年５月11日～(新機体)
型式	ベル式412EP型	レオナルド式AW139型
定員	13名（増槽タンク非装着時15名）	14名（前席2名＋客席12名）
最大全装備重量	5,398kg	7,000kg
空虚重量	3,820kg	4,579kg
有効搭載量	1,578kg	2,421kg
航続距離	720km	1,250km
最大巡航速度	259km／h	310km／h
限界高度	6,096m	6,096m
全長	17.1m	16.62m
全幅	2.9m	4.22m
全高	4.6m	4.98m
消火用水積載量	1,400ﾘｯﾄﾙ	1,800ﾘｯﾄﾙ

３　消防・防災ヘリコプターの運航状況（レオナルドAW139型）

令和６年中における運航件数は201件となった。

過去10年間の推移は下図のとおりであり，救急活動，山岳や海上での捜索，救助活動などの緊急運航や各種防災訓練を行った。

図11　過去10年間の活動状況

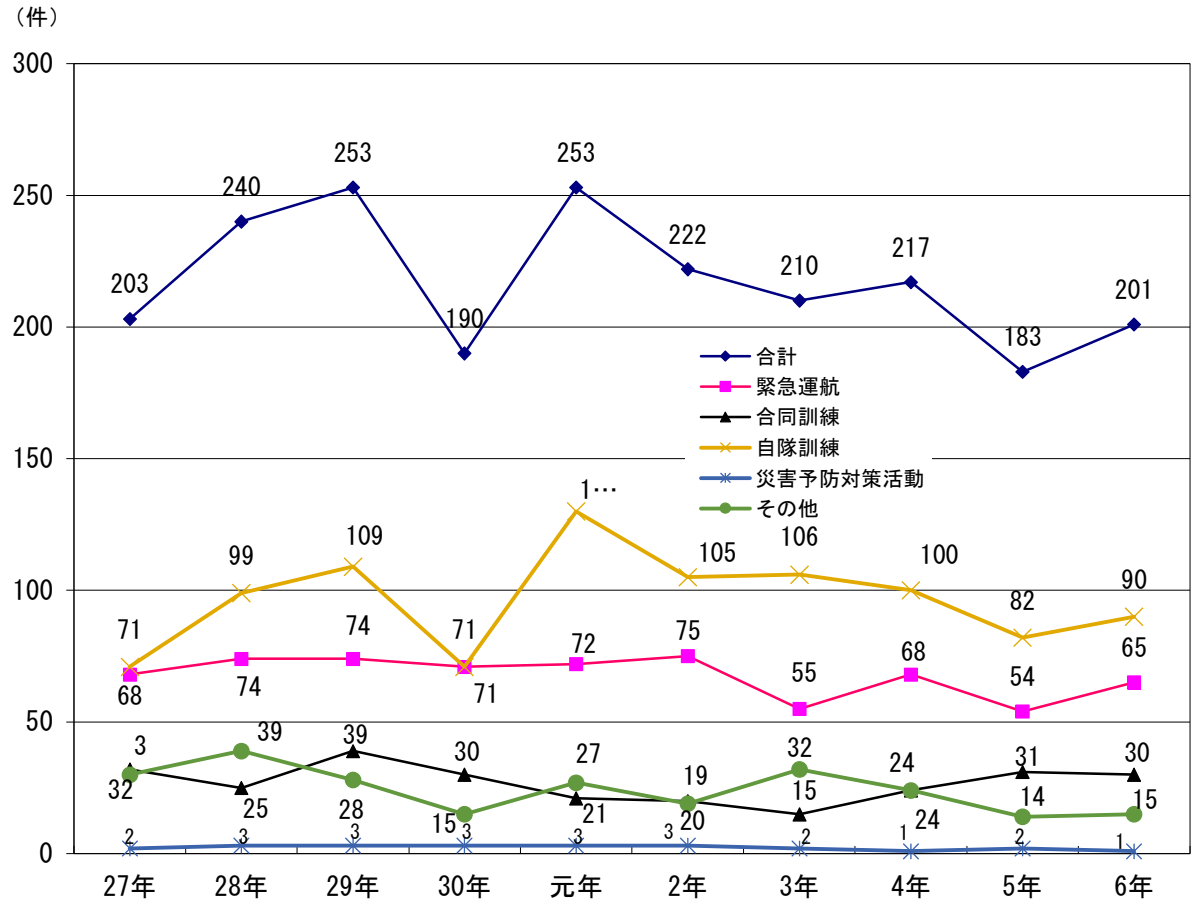


表29　消防・防災ヘリコプターの運航状況

（令和６年）

区分		月別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合　計	総　　計
緊急運航	災害応急対策活動	件数								2					2	
		時間								2:50					2:50	
	救急活動	件数		2		4	1	2	2	2	1	7	5		26	
		時間		1:45		1:55	0:15	3:30	3:25	0:55	1:30	9:30	7:15		30:00	
	火災防ぎょ活動	件数			2										2	65件
		時間			3:55										3:55	77時間25分
	救助活動	件数		2	1	5	1		2	2	2	8	5		28	
		時間		3:05	1:30	2:35	0:30		3:35	1:40	2:15	10:55	6:55		33:00	
	広域応援活動	件数					5		2						7	
		時間					5:40		2:00						7:40	
災害予防活動		件数										1			1	1件
		時間										2:15			2:15	2時間15分
合同訓練	他県広域関係	件数		1									1		2	
		時間		2:25									3:20		5:45	
	県市町村関係	件数		3	1	2	1				8	9	4		28	30件
		時間		3:20	0:25	1:45	1:30				12:40	10:20	6:40		36:40	42時間25分
	合同訓練事前訓練	件数														
		時間														
自隊訓練		件数		11	14	9	8	9	10	7	6	8	8		90	90件
		時間		12:55	18:35	9:35	8:50	9:10	10:45	8:20	7:05	8:45	8:30		102:30	102時間30分
その他		件数	3	2				2	1	1	5			1	15	15件
		時間	4:05	1:15				0:40	2:55	0:20	11:55			0:25	21:35	21時間35分
合　計		件数	3	21	18	20	16	13	17	14	22	33	23	1	201	201件
		時間	4:05	24:45	24:25	15:50	16:45	13:20	22:40	14:05	35:25	41:45	32:40	0:25	246:10	246時間10分

表30　消防・防災ヘリコプターの活動状況（R6年中）

(1) 災害応急対策活動状況

件数	回数	月　日	災害種別	発　生　場　所	時　間
1	1	8/8		日向灘	1:05
2	1	8/30		鹿児島県全域	1:45
2件　2回　2時間50分					

(2) 救急活動状況

件数	回数	月　日	災害種別	発　生　場　所	搬送人員	時　間
1	1	2/21		屋久島町	0	1:00
2	1	2/21		屋久島町	1	0:45
3	1	4/14		指宿市	1	0:10
4	1	4/14		指宿市	1	0:15
5	1	4/16		南さつま市	1	0:15
6	1	4/19		屋久島町	1	1:15
7	1	5/19		指宿市	1	0:15
8	1	6/10		屋久島町	1	1:10
9	1	6/16		鹿児島市	1	2:20
10	1	7/14		西之表市	1	1:05
11	1	7/16		鹿児島市	1	2:20
12	1	8/6		曽於市	1	0:25
13	1	8/11		霧島市	1	0:30
14	1	9/14		鹿児島市	1	1:30
15	1	10/4		屋久島町	1	1:25
16	1	10/11		奄美市	1	3:05
17	1	10/14		指宿市	1	0:10
18	1	10/26		奄美市	1	3:10
19	1	10/27		屋久島町	2	0:50
20	1	10/30		指宿市	1	0:15
21	1	10/30		霧島市	1	0:35
22	1	11/3		霧島市	1	0:30
23	1	11/5		霧島市	1	0:30
24	1	11/7		霧島市	1	0:30
25	1	11/22		鹿児島市	1	2:35
26	1	11/25		奄美市	1	3:10
２６件　２６回　３０時間００分						

(3) 火災防ぎょ活動状況

件数	回数	月　日	災害種別	発　生　場　所	時　間
1	1	3月15日		伊佐市	2:00
2	1	3月16日		伊佐市	1:55
２件　２回　３時間５５分					

(4) 救助活動状況

件数	回数	月　日	災害種別	発　生　場　所	時　間
1	1	2/11		肝付町(捜索活動)	1:35
2	1	2/12		肝付町(捜索活動)	1:30
3	1	3/12		肝付町(捜索活動)	1:30
4	1	4/13		鹿屋市(山岳・途中キャンセル)	0:20
5	1	4/14		指宿市(隊員投入)	0:45
6	1	4/14		指宿市(山岳救助)	0:15
7	1	4/14		指宿市(山岳救助)	0:30
8	1	4/16		南さつま市(その他)	0:45
9	1	5/19		指宿市(山岳救助)	0:30
10	1	7/14		南九州市(捜索活動)	1:00
11	1	7/15		南九州市(捜索活動)	2:35
12	1	8/6		曽於市(山岳救助)	0:55
13	1	8/11		霧島市(山岳救助)	0:45
14	1	9/1		薩摩川内市(山岳救助)	1:30
15	1	9/13		霧島市(山岳救助)	0:45
16	1	10/14		指宿市(隊員投入)	0:35
17	1	10/14		指宿市(山岳救助)	0:25
18	1	10/19		阿久根市(捜索活動)	2:00
19	1	10/23		奄美市(捜索活動)	5:30
20	1	10/27		屋久島町(山岳救助)	0:55
21	1	10/30		指宿市(隊員投入)	0:30
22	1	10/30		指宿市(山岳救助)	0:15
23	1	10/30		霧島市(山岳救助)	0:45
24	1	11/3		霧島市(山岳救助)	0:40
25	1	11/5		霧島市(山岳救助)	0:45
26	1	11/5		屋久島町(捜索活動)	3:40
27	1	11/7		霧島市(山岳救助)	0:45
28	1	11/12		出水市(隊員投入)	1:05
２８件　２８回　３３時間００分					

(5) 広域航空消防防災応援活動

件数	回数	月　日	災害種別	発　生　場　所	時　間
1	1	5/21		宮崎県（山岳救助）	0:55
2	1	5/21		宮崎県（傷病者搬送）	0:30
3	1	5/26		宮崎県（山岳救助）	1:35
4	1	5/29		宮崎県（その他）	2:10
5	1	5/29		宮崎県（傷病者搬送）	0:30
6	1	7/5		宮崎県（山岳救助）	1:15
7	1	7/5		宮崎県（傷病者搬送）	0:45
７件　７回　７時間４０分					

(6) 災害予防活動

件数	回数	月　日	災害種別	発　生　場　所	時　間
1	1	10/10		口永良部島（上空調査）	0:55
１件　１回　２時間１５分					

(7) 各種防災訓練等への参加等

件数	回数	月　日	訓練内容	訓練名及び実施場所	時　間
1	1	2/10	災害応急対策活動訓練	令和５年度鹿児島県原子力防災訓練	0:45
2	1	2/10	災害応急対策活動訓練	令和５年度鹿児島県原子力防災訓練	1:00
3	1	2/13	火災防ぎょ訓練（ドロップタンク）	大隅曽於地区消防組合との合同訓練	1:35
4	1	2/17	柱上訓練	相互応援協定合同訓練	2:25
5	1	3/2	火災防ぎょ訓練（情報収集訓練）	鹿児島市消防局南消防署との合同訓練	0:25
6	1	4/12	隊員投入・EV誘導無し救助	指宿市との合同訓練	1:10
7	1	4/28	機体展示	エアーメモリアルINかのや	0:35
8	1	5/12	情報収集・映像伝送	鹿屋市危険箇所点検	1:30
9	1	9/1	SVノーカット救助	令和６年度南九州市総合防災訓練	0:30
10	1	9/5	SVノーカット救助WS救助・EV誘導無し救助	第87期初任教育生との合同訓練	1:20
11	1	9/6	SVノーカット救助	令和６年度沖永良部両町総合防災訓練	4:00
12	1	9/13	隊員投入WS救助・EV誘導無し救助	姶良市消防本部との合同訓練	1:20
13	1	9/17	隊員投入	阿久根地区消防組合との合同訓練	1:30
14	1	9/18	隊員投入WS救助・PG救助	出水市消防本部との合同訓練	1:35
15	1	9/20	EV誘導無し救助・PG救助	薩摩川内市消防局との合同訓練	1:20
16	1	9/30	WS救助・EV誘導無し救助	指宿南九州消防組合との合同訓練	1:05
17	1	10/8	WS救助・EV誘導無し救助	垂水市消防本部との合同訓練	1:05
18	1	10/9	隊員投入WS救助・EV誘導無し救助	さつま町消防本部との合同訓練	1:35
19	1	10/12	WS救助	枕崎市消防本部との合同訓練	0:40
20	1	10/15	SVノーカット救助・隊員投入 EV誘導無し救助・PG救助・WS救助	第29期救助科生との合同訓練	1:15
21	1	10/22	情報収集・映像伝送	令和６年度鹿児島県石油コンビナート等総合防災訓練	0:40
22	1	10/24	隊員投入EV誘導無し救助・PG救助	大隅肝属地区消防組合との合同訓練	1:25
23	1	10/25	隊員投入EV誘導無し救助・PG救助	伊佐湧水消防組合との合同訓練	1:55
24	1	10/30	WS救助	鹿児島市消防局・薩摩川内市消防局との合同訓練	0:40
25	1	10/31	WS救助	鹿児島市消防局・姶良市消防本部との合同訓練	1:05
26	1	11/8	隊員投入EV誘導無し救助・PG救助	霧島市消防局との合同訓練	1:40
27	1	11/10	EV誘導無し救助	令和６年度いちき串木野市総合防災訓練	0:55
28	1	11/13	隊員投入	熊毛地区消防組合との合同訓練	1:40
29	1	11/16	ベランダ救助	令和６年度緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練	3:20
30	1	11/21	要員搬送・傷病者搬送	令和６年度離島防災訓練	2:25
３０件　３０回　４２時間２５分					

余　　白